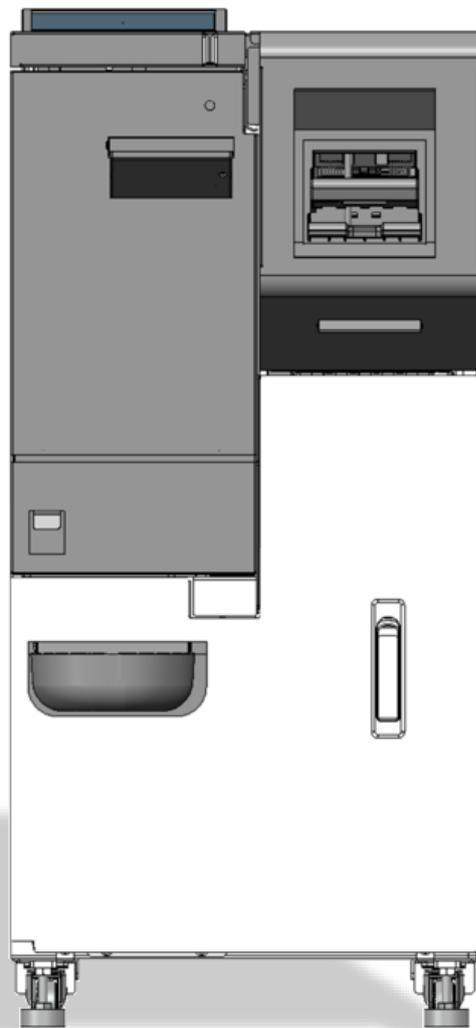


# コンパクトタイプ入金機 (SD-F)

## 取扱説明書



## はじめに

このたびは、コンパクトタイプ入金機（SD-F）をご採用いただき、誠にありがとうございます。

本装置は、店舗の売上金を管理・保管する入金専用の装置であり、センターシステムとオンライン通信を可能とするインターフェイスを持ちます。

この取扱説明書には、本装置の操作方法および使用上の注意事項を記載しております。本書をお読みいただき、注意事項、操作方法を十分にご理解のうえ、説明に従いご利用ください。

# 目次

コンパクトタイプ入金機 (SD-F) 取扱説明書 .....	1
はじめに .....	2
目次 .....	3
注意事項 .....	5
第 1 章 各部の名称 .....	10
1.1. 装置外観 .....	10
1.2. ユニット・レイアウト .....	11
1.3. タッチパネル・レイアウト .....	12
1.3.1. 表示項目の説明 .....	12
1.3.2. 業務メニュー .....	13
1.3.3. 保守メニュー .....	14
第 2 章 各部の操作方法 .....	15
2.1. 磁気カードリーダー .....	15
2.2. 紙幣ユニット .....	16
2.2.1. 紙幣投入口/返却口 .....	16
2.2.2. 紙幣投入時の注意点 .....	16
2.3. 硬貨ユニット .....	18
2.3.1. 硬貨投入口/返却口 .....	18
2.3.2. 硬貨投入時の注意点 .....	19
2.4. プリンター .....	20
2.4.1. 内蔵プリンター .....	20
2.4.2. サーマルプリンター (新型) .....	22
2.4.3. サーマルプリンター (旧型) .....	24
2.4.4. 認証プリンター .....	26
2.5. 前扉 .....	27
2.5.1. 前扉の開け方 .....	27
2.5.2. 前扉の閉め方 .....	28
2.6. 主電源スイッチ .....	29
第 3 章 業務メニューの操作 .....	30
3.1. 共通の操作 .....	31
3.1.1. ID カード認証 .....	31
3.1.2. 再印字 .....	32
3.2. 引渡 .....	33
3.3. 金額指定 .....	38
3.4. 締め .....	45
3.5. 計数 .....	47
3.6. 両替金 .....	52
3.7. 取引履歴 .....	56

3.8. ロック解除.....	58
3.8.1. 紙幣ユニットのロック解除 .....	58
3.8.2. 硬貨ユニットのロック解除 .....	61
第4章 保守メニューの操作 .....	64
4.1. 保守メニューの表示方法 .....	64
4.2. Zレシート.....	65
4.3. 収納部開.....	67
4.4. 再起動.....	72
第5章 装置メンテナンス .....	73
5.1. 清掃用具の準備.....	73
5.2. 清掃ガイドスの確認.....	73
5.3. 紙幣ユニットの清掃 .....	74
5.4. 硬貨ユニットの清掃 .....	80
第6章 紙幣/硬貨ユニットのエラー解除方法.....	83
6.1. エラーが発生したときは.....	83
6.2. 紙幣ユニットのエラー解除方法 .....	84
6.2.1. リサイクルボックスの取り外し.....	85
6.2.2. つまった紙幣の除去.....	87
6.2.3. ユニットの復旧 (リセット) .....	91
6.3. 硬貨ユニットのエラー解除方法 .....	94
6.3.1. つまった硬貨の除去.....	94
6.3.2. ユニットの復旧 (リセット) .....	99
第7章 困ったときは.....	101
7.1. タッチパネル表示部に何も表示されていない.....	101
7.2. 業務メニューに「通信エラー」と表示されている.....	101
7.3. 業務メニューに「赤色」のメッセージが表示されている.....	102
7.4. 引渡の自動収納後に装置が休止した .....	103
7.5. 紙幣返却口のアラーム音が鳴り続けている.....	104
7.6. くしゃくしゃの紙幣が、紙幣返却口から排出される.....	105
7.6.1. 異物除去シートの作成 .....	105
7.6.2. 紙幣ユニットの異物の取り除き方法 .....	106
7.7. 装置の電源を停止したい.....	109
第8章 付録 .....	110
8.1. 装置仕様.....	110
8.2. 付属品.....	111

## 注意事項

### ● 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、本装置を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。本装置を使用する前に、この取扱説明書を熟読してください。

特に、この取扱説明書に記載されている「注意事項」をよく読み、理解されたうえで本装置を使用してください。また、この取扱説明書は、本装置の使用時、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通フロンテック株式会社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。

### ● ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通フロンテック株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

### ● 鉛蓄電池の取扱い上の注意

本製品には、下記の鉛蓄電池が使用されています。



**Pb**

電池仕様 : FPX1255 (相当品) 1 個  
12V 5.5Ah  
製造社名 : 古河電池株式会社

注. このマークは鉛蓄電池のリサイクルマークです。

## ● 警告表示について

本装置を安全にご使用いただき、人身や財産への危害を未然に防ぐために守っていただきたい事項を示しています。以下の表示と記号の意味、内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 <b>注意</b>	正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。また、本装置や本装置に接続している機器に損害を与えるおそれがあることを示します。
---	---

危害や損害の内容を示すために、以下の記号を使用しています。

記号	記号の意味
	△で表示された記号は、警告や注意事項を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。
	○で表示された記号は、してはいけない禁止行為を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。
	●で表示された記号は、必ず従っていただく行為の強制、指示を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。

## ● 操作上の注意事項

本装置を安全に操作いただくために必ずお守りください。

 <b>注意</b>	
 指挟み注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 扉を開閉する場合は、指を装置と扉の間に挟まないように注意してください。</li> <li>● 扉は、ゆっくりと開閉してください。</li> <li>● ハンドルを操作する場合は、扉の内側に手や指を入れないでください。</li> <li>● ユニットを操作する場合は、緑色の部分を持って操作してください。</li> <li>● ユニットを引き出す場合は、緑色のレバーまたは取っ手を引いてください。</li> <li>● ユニットを戻す場合は、緑色のレバーを押すか、取っ手を握ってゆっくりと押ししてください。</li> </ul>
 転倒注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1つのユニットを引き出した状態で、別のユニットを引き出さないでください。必ず1つを戻してから、次のユニットを引き出してください。</li> <li>● 紙幣ユニット/硬貨ユニット/内蔵プリンターカバーをそれぞれ戻す場合は、カチッと確実にロックされるまでゆっくりと押ししてください。</li> </ul>
 発火注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置の内部や隙間にクリップ、ホチキス針などの金属片を落とさないでください。電気回路に接触すると、火災のおそれがあります。</li> </ul>
 高温注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニット内部には、高温になる箇所があります。ユニット内部を操作する際は、注意してください。怪我や火傷を負うおそれがあります。</li> </ul>
 一般的注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニットが動作している最中に、ユニットを引き出さないでください。動作しているユニットの一部に身体が当たると、傷害を負うおそれがあります。</li> </ul>

## ● 設置環境の注意事項

本装置を設置する際は、以下のことに注意してください。

 <b>注意</b>	
 指挟み注意	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設置の際は、扉、カバーの開閉、および装置の操作が十分可能な空間をお取りください。装置の一部が身体に当たると、傷害を負うおそれがあります。</li></ul>
 転倒注意	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設置床面が装置の重荷に耐えられそうにない場所への設置、または傾き、凹凸などで不安定な場所への設置は、避けてください。</li></ul>
 発火注意	<ul style="list-style-type: none"><li>● 装置周辺に可燃物を置かないでください。装置異常による発熱、および電源からの引火による火災のおそれがあります。</li></ul>

## ● 保守点検時の注意事項

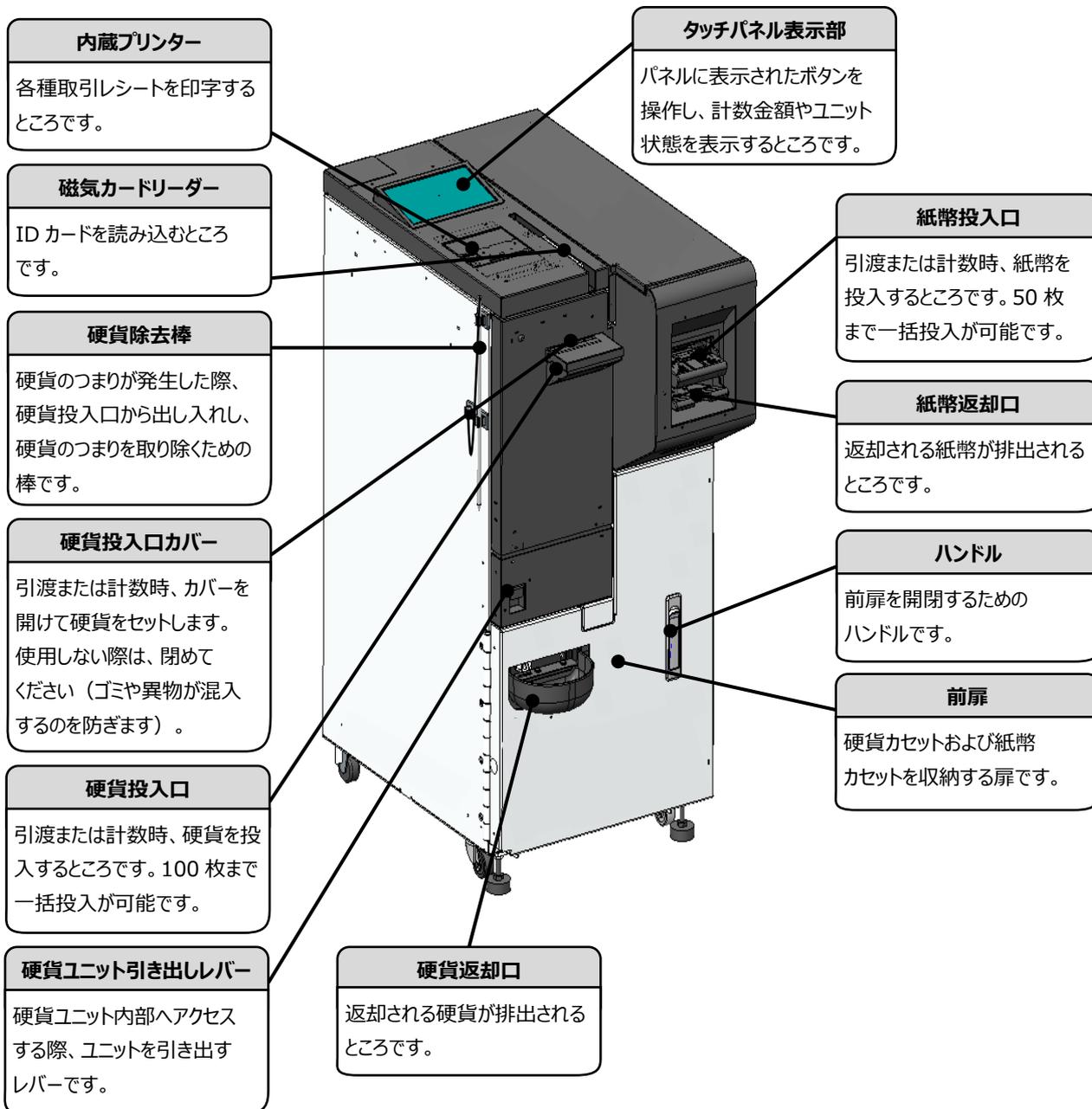
本装置の保守点検時には、以下のことを必ず守ってください。

 <b>注意</b>	
 感電注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電の危険を防止するために保守作業を行う場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。</li> <li>● 電源ケーブルを傷つけないようにしてください。踏んだり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルを傷め、火災や感電のおそれがあります。</li> <li>● 電源ケーブル抜く場合は、濡れた手で電源ケーブルに触れないでください。</li> <li>● 装置の上に、水の入った花瓶やコップを置かないでください。また、装置に水滴が掛からないようにしてください。絶縁が悪くなって感電、発煙、故障のおそれがあります。</li> </ul>
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。</li> <li>● 本装置の修理/保守は、緊急連絡先に連絡のうえ、メンテナンスを受けてください。</li> </ul>
 プラグを抜け	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置から発煙した場合、本取扱説明書またはラベルで指示する以外の外装部や装置内部が異常に熱くなった場合、および異常な音がする場合は、直ちに使用を中止して、電源ケーブルを抜いて緊急連絡先にご連絡ください。 そのまま使用したり、放置したりすると、火災、感電のおそれがあります。</li> </ul>

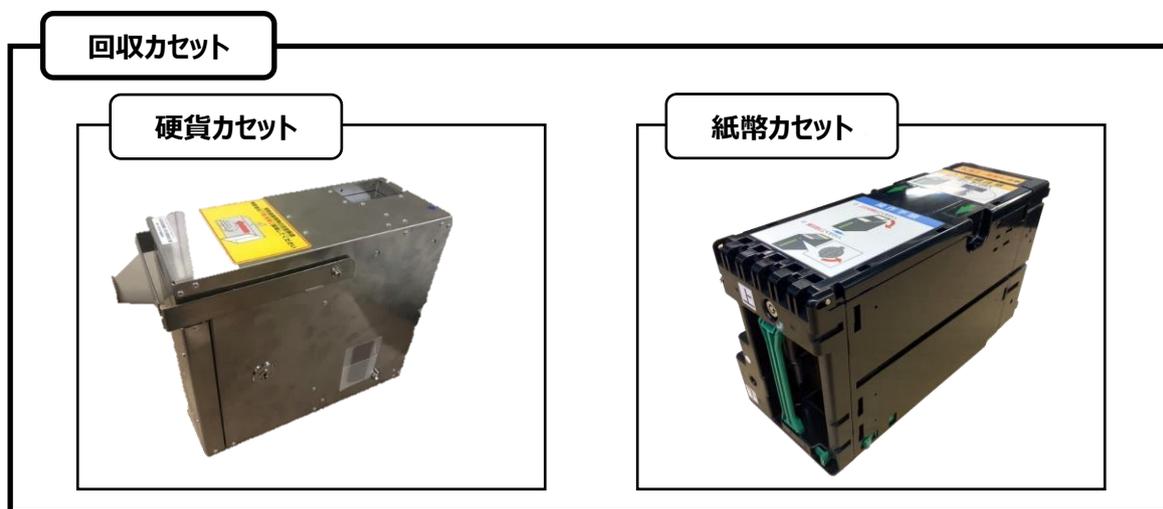
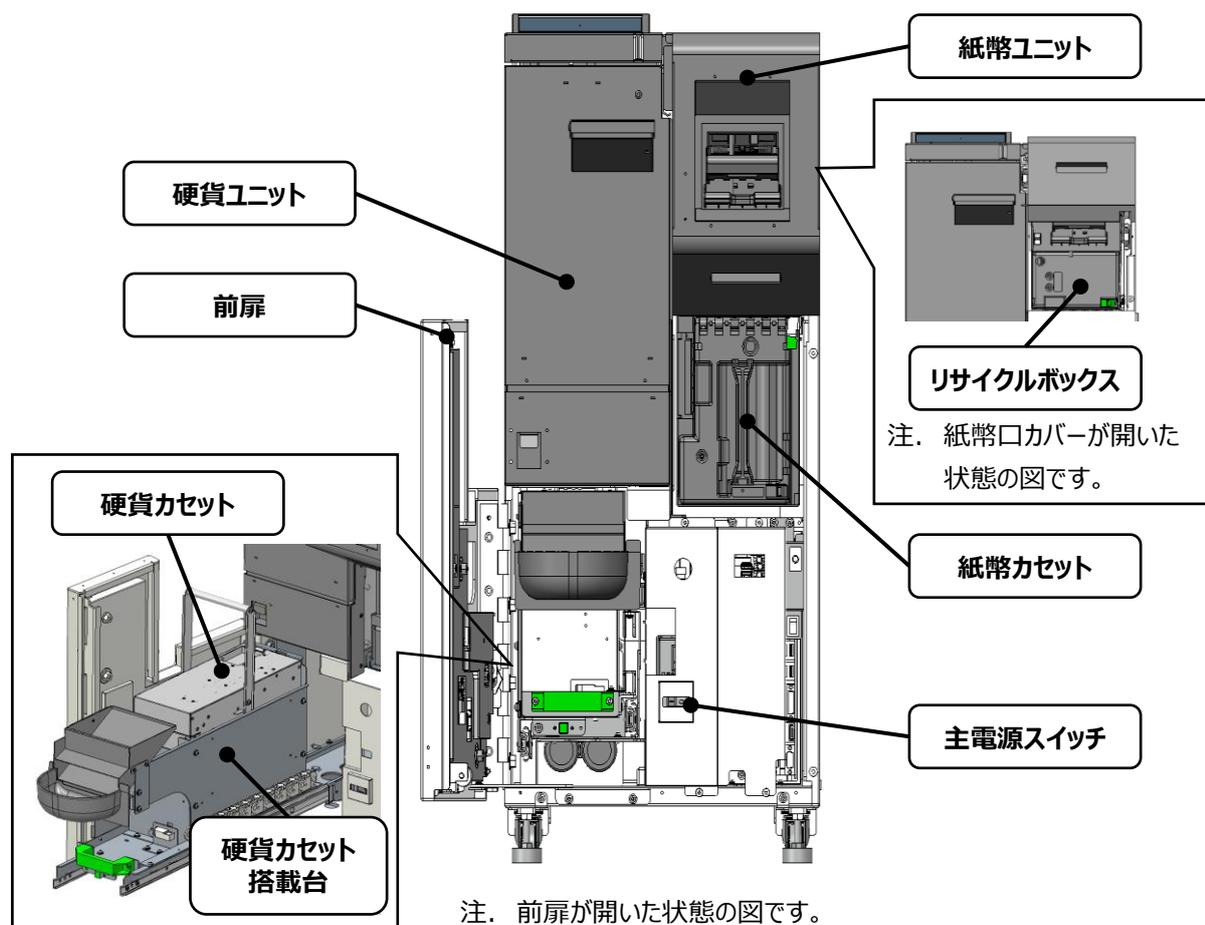
## 第1章 各部の名称

この章では、本装置の各部の名称とタッチパネル表示部に表示されるメニューを説明します。

### 1.1. 装置外観



## 1.2. ユニット・レイアウト



**⚠ 注意**

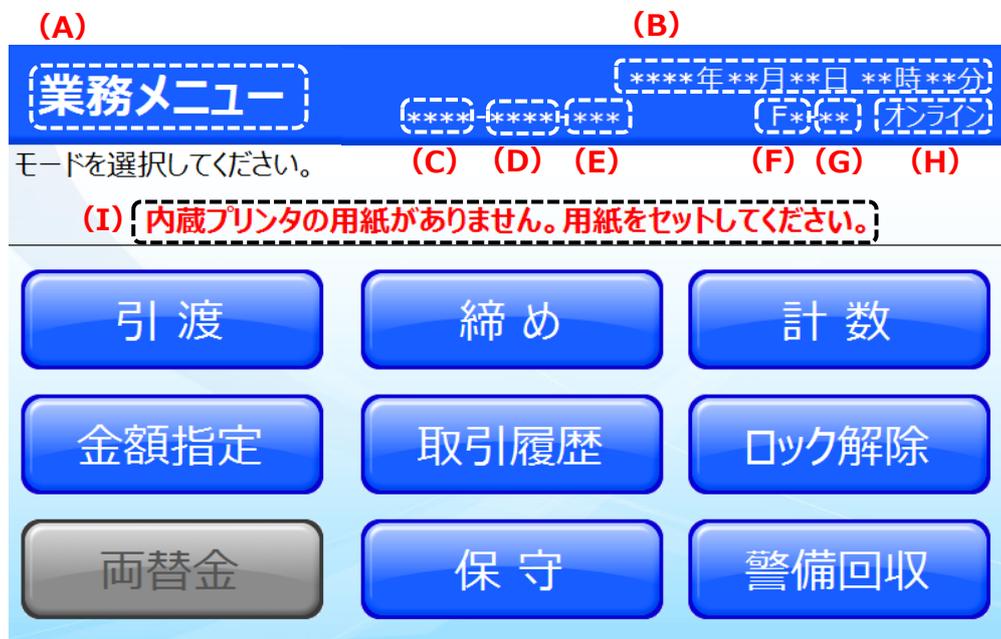
- 「主電源スイッチ」は、保守員がメンテナンス作業を行う際に使用します。運用中は、スイッチに触れずに電源投入のまま使用してください。

## 1.3. タッチパネル・レイアウト

装置の電源を投入している場合、タッチパネル表示部に下記の業務メニューが表示されます。

### 1.3.1. 表示項目の説明

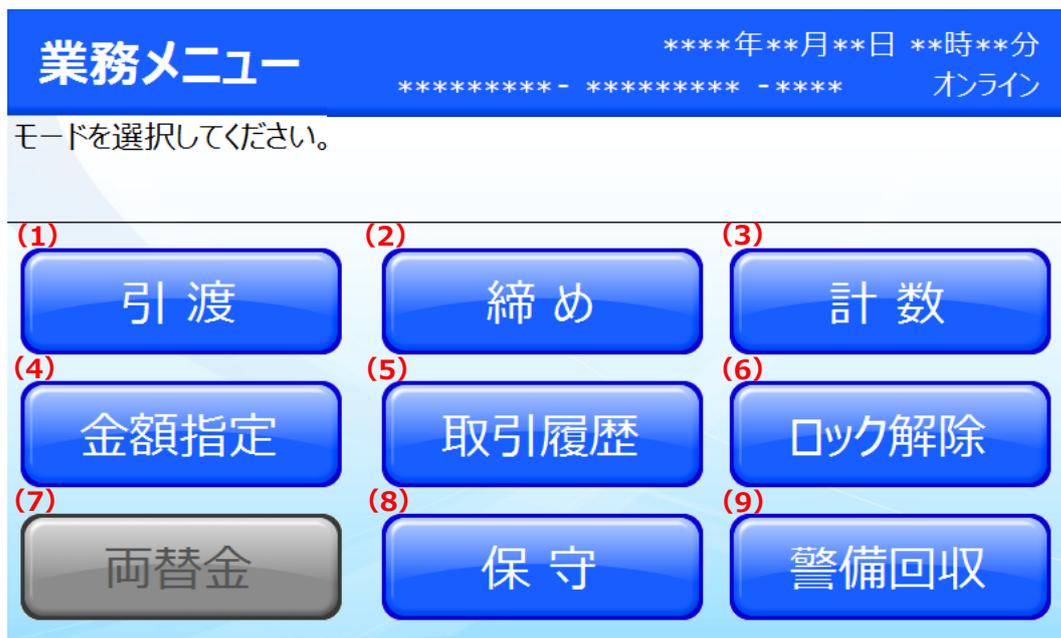
タッチパネル表示部の表示項目を説明します。



項番	項目名称	表示項目の説明
(A)	タイトル	操作している画面のタイトル名（取引名）です。
(B)	システム日時	装置のシステム日時（形式：YYYY年MM月DD日hh時mm分）です。
(C)	地区番号	装置に設定されている地区番号（4桁）です。
(D)	建物番号	装置に設定されている建物番号（4桁）です。
(E)	号機番号	装置に設定されている号機番号（3桁）です。
(F)	機種設定	装置に設定されている機種設定（F1, F2, F4）です。
(G)	プリンター設定	装置に設定されているプリンター設定です。 O1 : 内蔵プリンター T1 : サーマルプリンター N1 : 認証プリンター
(H)	運用モード	装置に設定されている運用モード（オンライン、またはオフライン）です。 注. オンラインモードでネットワーク障害が発生している場合は、「通信エラー」と表示されます。「7.2 業務メニューに「通信エラー」と表示されている(P.101)」を参照して、ネットワーク機器との接続状態を確認してください。
(I)	装置状態	システムや各ハードウェア部の状態を表示します（装置が正常に稼働している場合は、何も表示されません）。 注. 装置状態として表示されるメッセージ内容と対処方法は、「7.3 業務メニューに「赤色」のメッセージが表示されている(P.102)」を参照してください。

### 1.3.2. 業務メニュー

業務メニューの各種ボタンを説明します。



項番	取引名称	取引内容の説明
(1)	引渡	投入口にセットされた紙幣および硬貨を計数し、回収カセットへ収納します。
(2)	締め	前回締めから引渡された金額の合計を集計します。
(3)	計数	投入口にセットされた紙幣および硬貨を計数し、計数結果を表示します。
(4)	金額指定	最初に引渡する金額を指定します。投入口にセットされた紙幣および硬貨を計数し、回収カセットへ収納します（指定した金額を超えた紙幣・硬貨は返却されます）。
(5)	取引履歴	過去に行った取引確認および取引レシートを再印字します。
(6)	ロック解除	紙幣ユニットまたは硬貨ユニットの電磁ロックを解除します。ユニット内部の点検や清掃を行う際に操作します。
(7)	両替金	硬貨カセットにセットされた「両替金」を取り出します。
(8)	保守	装置の各種メンテナンスを行う際に操作します（詳細は、「1.3.3 保守メニュー (P.14)」で説明します）。
(9)	警備回収	装置内の回収カセットを取り出し、空のカセットと交換します。 「警備回収」は、店舗ユーザーは操作できません（警備輸送隊員だけ操作できます）。

#### 補足

- 両替金が硬貨カセットに格納されている場合、「保守」を除いて各取引の操作はできません。
- これらの操作をしたい場合は、「3.6 両替金(P.52)」を参照し、両替金をすべて取り出してください。



### 1.3.3. 保守メニュー

保守メニューの各種ボタンを説明します。



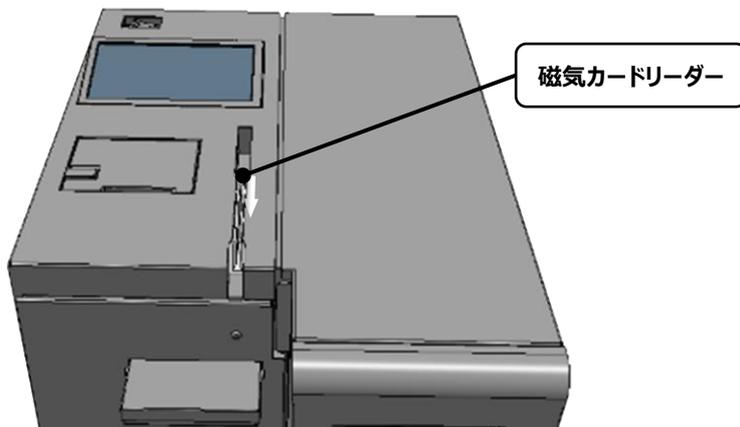
項番	保守名称	保守内容の説明
(1)	Zレシート	Zレシートを印字します。
(2)	収納部開	回収カセットが格納されている、前扉の電磁ロックを解除します。
(3)	再起動	装置を再起動します。

## 第2章 各部の操作方法

### 2.1. 磁気カードリーダー

ID カード認証を行う際に操作します。

ID カードの磁気ストライプ面を本体正面から見て、左側に向け、磁気ストライプ面を下にして、磁気カードリーダーの奥側にセットします。ID カードをしっかりと持ち、矢印の方向に一定の速度で移動させます。



---

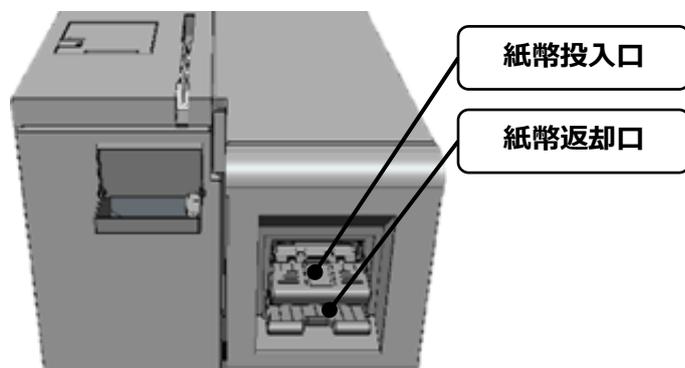
#### ⚠ 注意

- ID カードを移動させる際に、浮き上がらないよう操作してください。
  - ID カードの移動が速すぎたり、途中で止めたりすると、ID カードの内容が読み取れないことがあります。
-

## 2.2. 紙幣ユニット

### 2.2.1. 紙幣投入口/返却口

紙幣ユニットは、紙幣を制御するユニットです。引渡および計数時、紙幣を投入する際に操作します。



名称	説明
紙幣投入口 (上側)	紙幣を投入するところです。 一回の操作で <b>50 枚</b> まで、 投入できます。
紙幣返却口 (下側)	返却する紙幣が排出される ところです。

#### 補足

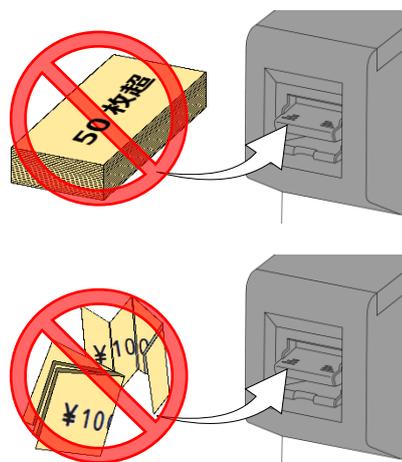
- 取り忘れ防止のため、紙幣返却口に排出された紙幣を 5 秒以内に取り除かないと、アラーム音が鳴ります。
- 紙幣を取り除いてもアラーム音が停止しない場合は、「7.5 紙幣返却口のアラーム音が鳴り続けている(P.104)」を参照して、紙幣返却口を点検してください。

### 2.2.2. 紙幣投入時の注意点

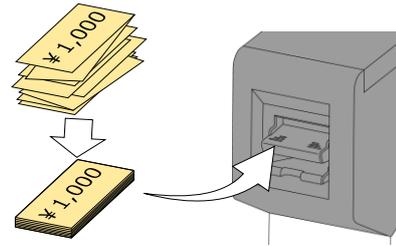
装置内部の紙幣つまり、および紙幣ユニット故障の原因となりますので、紙幣を投入する際、以下の点に注意してください。

#### 注意

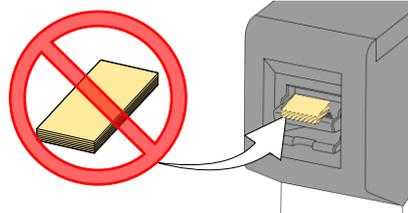
- 一度に 50 枚を超える紙幣は、投入しないでください。
- 折り癖やシワのある紙幣は、よく伸ばしてから投入してください。



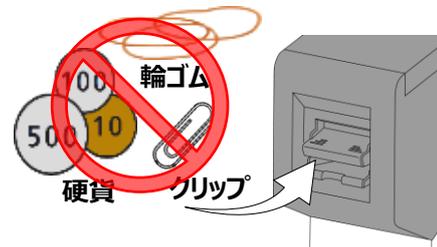
- 紙幣はきれいにそろえてから、投入してください。



- 装置が投入口の紙幣を計数しているときに投入口に紙幣を投入しないでください。投入口の紙幣がすべてなくなつてから、次の紙幣を投入してください。



- 紙幣以外の異物（硬貨、輪ゴム、クリップなど）を投入しないでください。



- 紙幣の間に異物が挟まっていることがあります。異物除去トレイを使用して、紙幣の間に挟まった異物を除去してから、紙幣を投入してください。



- 濡れた紙幣は、投入しないでください。



## 2.3. 硬貨ユニット

### 2.3.1. 硬貨投入口/返却口

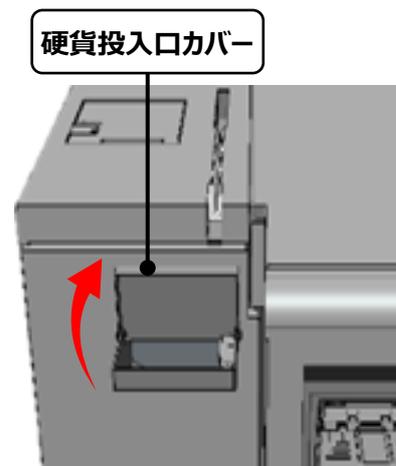
硬貨ユニットは、硬貨を制御するユニットです。引渡および計数時、硬貨を投入する際に操作します。



名称	説明
硬貨投入口	硬貨を投入するところです。 一回の操作で <b>100枚</b> まで、投入できます。
硬貨返却口	返却する硬貨が排出される ところです。

#### 補足

- 硬貨投入口には、硬貨投入口カバーが付いています。硬貨を投入する際は、カバーを開けて使用してください。
- ゴミや異物が硬貨ユニットへ入ることを防ぐため、使用しない際は、必ずカバーを閉じてください。

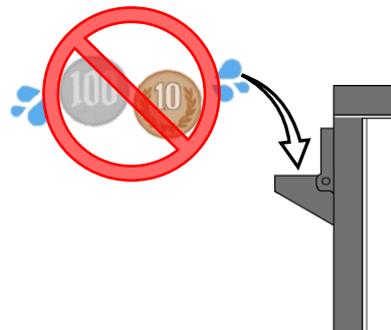
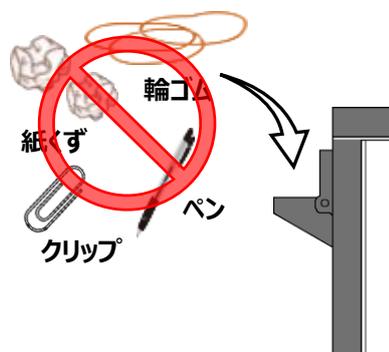
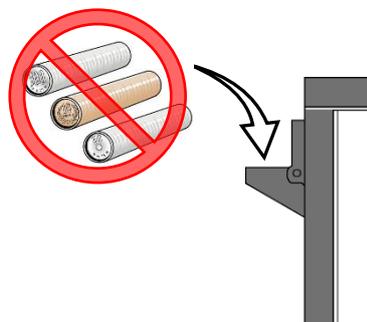
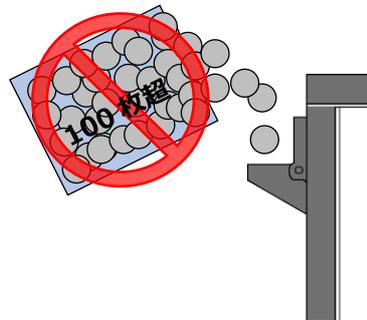


### 2.3.2. 硬貨投入時の注意点

装置内部の硬貨つまり、および硬貨ユニット故障の原因となりますので、硬貨を投入する際、以下の点に注意してください。

#### ▲ 注意

- 一度に 100 枚を超える硬貨は、投入しないでください。
  
- 棒金のまま投入しないでください。
  
- 硬貨以外の異物（紙くず、輪ゴム、クリップ、ペンなど）を投入しないでください。
  
- 「濡れた硬貨」は、投入しないでください。硬貨が濡れている場合は、水分をふき取ってから投入してください。



## 2.4. プリンター

本装置には、ロール紙に取引レシートを印字するプリンターが内蔵されています。また、外部にプリンターを接続し、取引レシートを外部のプリンターへ印字することが可能です。

外部にプリンターを接続した場合、各レシートは外部に接続したプリンターへ印字されます。

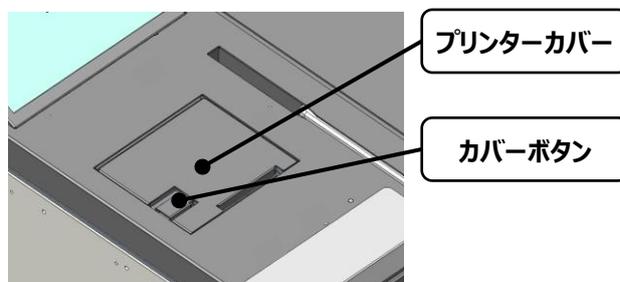
### 補足

➤ 外部にプリンターを接続しても警備回収のレシートは、必ず内蔵プリンターに印字されます。

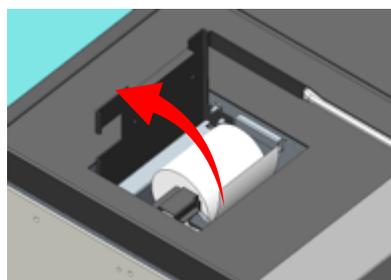
### 2.4.1. 内蔵プリンター

内蔵プリンターにセットされているロール紙が少なくなると、用紙の端に赤い帯が現れます。以下の手順で、新しいロール紙と交換してください。

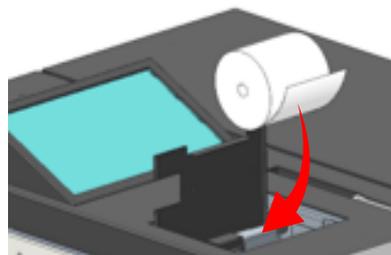
1. カバーボタンを押して、プリンターカバーを開きます。



2. 少なくなったロール紙を取り除きます。

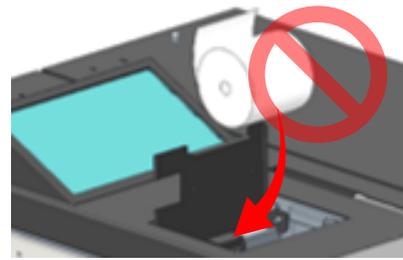


3. 新しいロール紙の巻止めをはがして、内蔵プリンターへセットします。

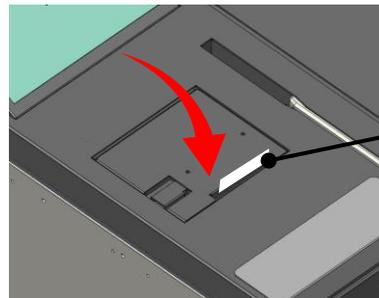


**補足**

- ロール紙の向きに注意し、正しくセットしてください。



4. ロール紙の先端を 5 ミリほど引き出した状態で、プリンターカバーを閉じます。



ロール紙を約 5 ミリ引き出す。

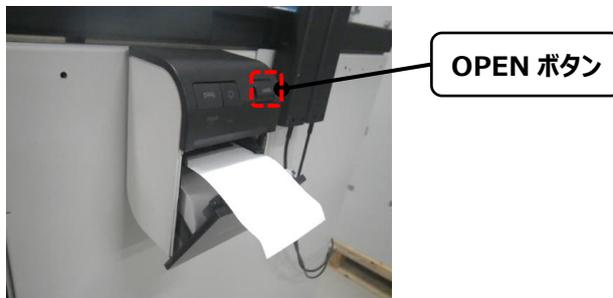
**補足**

- プリンターカバーは、カチッと音がするまで、しっかりと閉めてください。
- プリンターカバーが正しく閉じられていないと、タッチパネル表示部に「**内蔵プリンタのカバーが開いています。**」と表示されます。このメッセージが表示されていないことを確認してください。

## 2.4.2. サーマルプリンター（新型）

本装置に日本プリメックス社製 NEX-C200R-A1 を接続した際の、ロール紙交換方法を説明します。  
サーマルプリンターにセットされているロール紙が少なくなると、用紙の端に赤い帯が現れます。以下の手順で、新しいロール紙と交換してください。

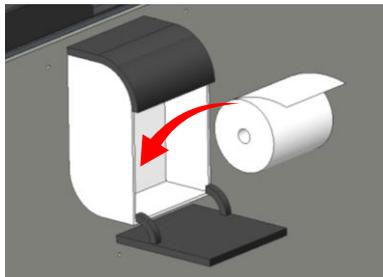
### 1. OPEN ボタンを押します。



### 2. プリンターカバーを開けて、少なくなったロール紙を取り除きます。



### 3. 新しいロール紙の巻止めをはがして、プリンターへセットします。



#### 補足

- ロール紙の向きに注意し、正しくセットしてください。



4. ロール紙の先端を 5 ミリほど引き出した状態で、プリンターカバーを閉じます。



ロール紙を約 5 ミリ引き出す。

 補足

- プリンターカバーは、カチッと音がするまで、しっかりと閉めてください。  
また、「テストプリント」が印字されることを確認してください。



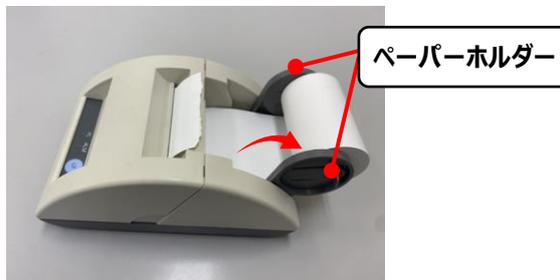
テストプリント

PRINT THIS SIDE

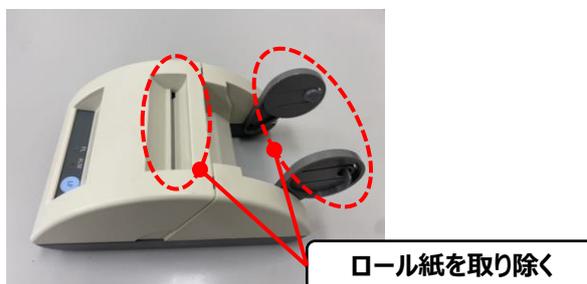
### 2.4.3. サーマルプリンター（旧型）

本装置に日本プリメックス社製 NP-220i を接続した際の、ロール紙交換方法を説明します。  
サーマルプリンターにセットされているロール紙が少なくなると、用紙の端に赤い帯が現れます。  
以下の手順で、新しいロール紙と交換してください。

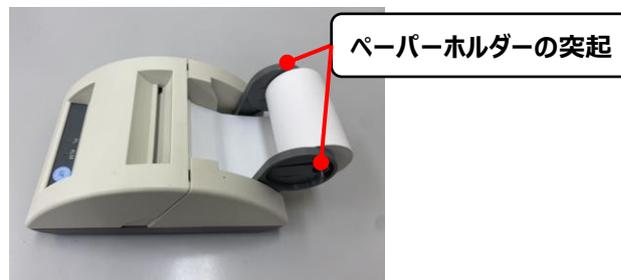
1. ペーパーホルダーを矢印の方向に倒します。



2. 使用済みのロール紙を取り除き、  
少なくなったロール紙を取り除きます。



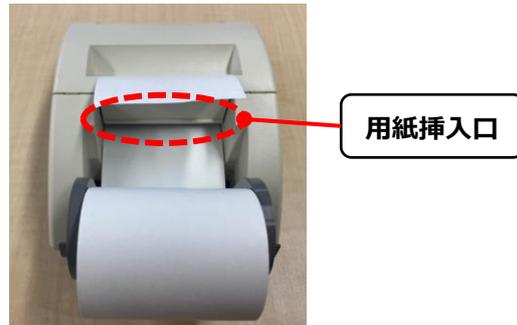
3. 新しいロール紙の巻止めをはがして、  
プリンターへセットします。



#### 補足

- ロール紙をプリンターへセットする際は、ペーパーホルダーの突起を外側に引っ張ってロール紙をセットします。
- ロール紙の向きに注意し、正しくセットしてください。

4. ロール紙の先端をプリンター用の紙挿入口へセットします。



**補足**

- プリンターがロール紙を検知すると、自動でロール紙が引き込まれます。
- 用紙セットメッセージ「TEST PRINT」が印字されることを確認してください。

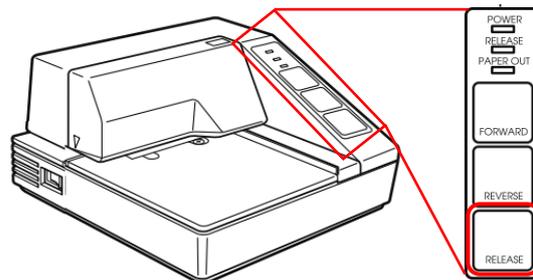
5. ペーパーホルダーを元に戻します。



### 2.4.4. 認証プリンター

本装置にセイコーエプソン社製 TM-U295 を接続した際の、紙のセット方法を説明します。

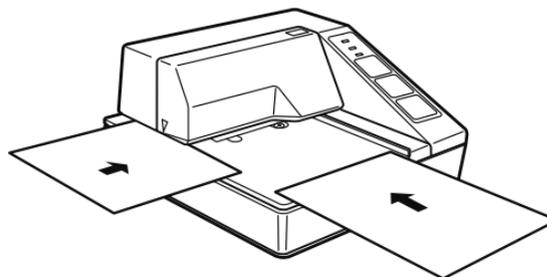
1. 「RELEASE」ボタンを押し、  
ペーパーリリース状態にします。



#### 補足

- 操作前に、プリンターの電源が投入されている（POWER ランプが点灯している）ことを確認してください。

2. 用紙をセットします。



#### 補足

- 用紙は、プリンター仕様にあったものを使用してください。
- 用紙は、図のように前方と、横方向から挿入することができます。
- 「PAPER OUT」ランプが点灯した場合は、もう一度用紙をセットしてください。

## 2.5. 前扉

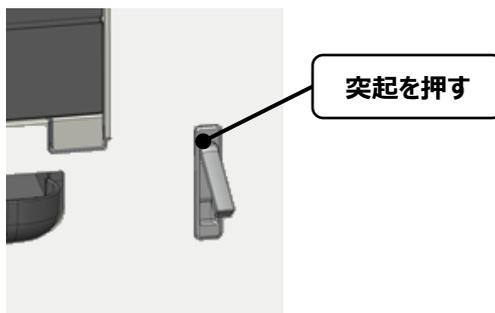
両替金の取り出しを行う際に操作します。通常、前扉は施錠されており、各操作を行わないと、前扉を開けることはできません。

### ☞ 参照

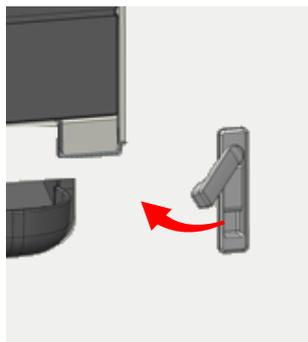
➤ 両替金の取り出し方法は、「3.6 両替金(P.52)」を参照してください。

### 2.5.1. 前扉の開け方

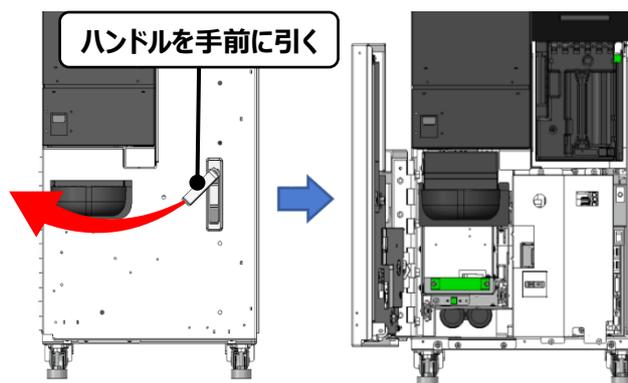
1. ハンドル上部の突起を押し、ハンドルを引き出します。



2. 引き出したハンドルを時計回りにまわします。

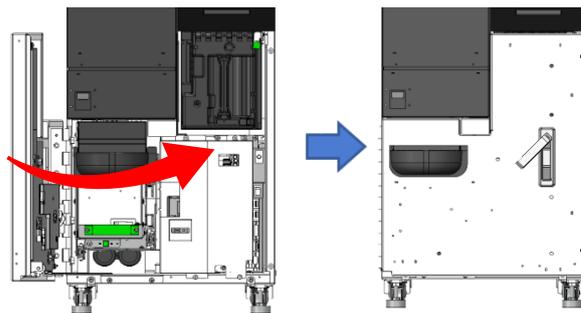


3. ハンドルをしっかりと持って、手前に引くと前扉が開きます。

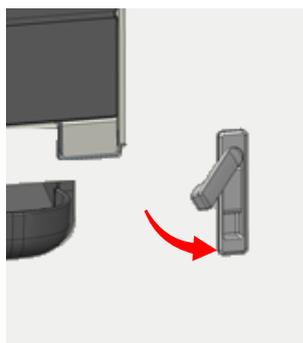


## 2.5.2. 前扉の閉め方

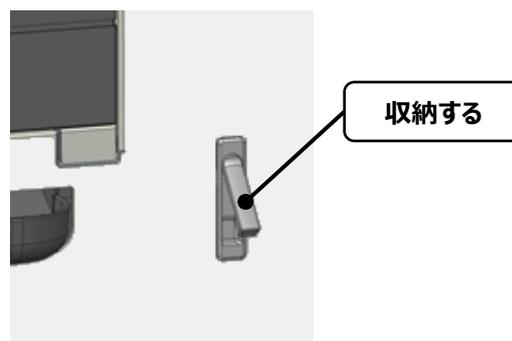
1. 前扉を押し込み、前扉を元の位置に戻します。



2. 引き出したハンドルを反時計回りにまわします。



3. ハンドルを収納します。

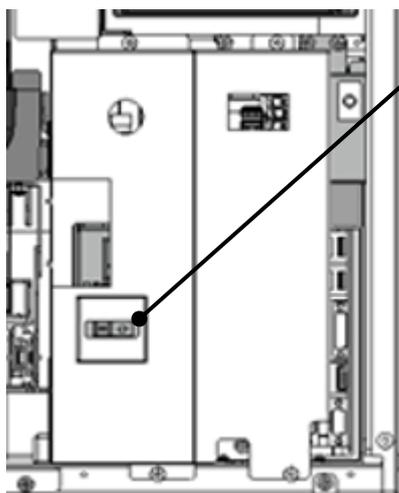


### ⚠ 注意

- 引き出した前扉のハンドルは、必ず収納してください。ハンドルが引き出された状態のまま使用すると、ハンドルにぶつかってケガをするおそれがあります。

## 2.6. 主電源スイッチ

装置の主電源スイッチです。電源の投入および停止を行う際に操作します。



スイッチ	説明
○側	電源が停止されます。
一側	電源が投入されます。

### ⚠ 注意

- 主電源スイッチは、保守員がメンテナンス作業を行う際に使用します。運用中は、スイッチに触れずに電源投入のままご使用ください。

### 📖 補足

- 設置された屋内の電源工事や点検などで本装置を停止させたい場合は、「7.7 装置の電源を停止したい (P.109)」を参照してください。

## 第3章 業務メニューの操作

ここでは、業務メニューで行う操作手順を説明します。操作手順の詳細は、以下の各ページを確認してください。

### ☞ 参照

➤ 業務メニューの説明は、「1.3.2 業務メニュー(P.13)」を参照してください。

#### 【共通の操作】

ID カード認証	▶ ▶ 31 ページ
再印字	▶ ▶ 32 ページ

引渡	▶ ▶ 33 ページ
----	------------

金額指定	▶ ▶ 38 ページ
------	------------

締め	▶ ▶ 45 ページ
----	------------

計数	▶ ▶ 47 ページ
----	------------

両替金	▶ ▶ 52 ページ
-----	------------

取引履歴	▶ ▶ 56 ページ
------	------------

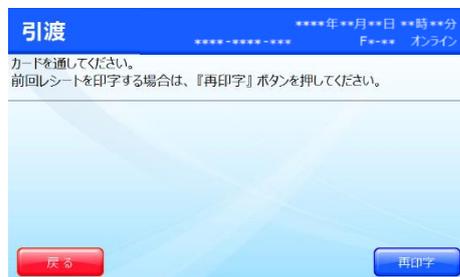
ロック解除	▶ ▶ 58 ページ
-------	------------

## 3.1. 共通の操作

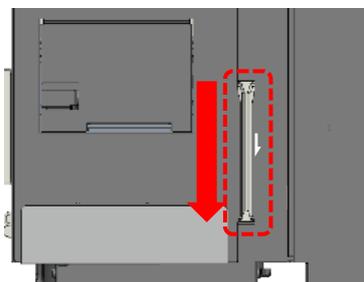
### 3.1.1. ID カード認証

業務メニューの各操作には、ID カードによる認証操作が必要となります。操作したい取引ボタンを押すと、認証画面が表示されますので、認証操作をしてください。ここでは、引渡を例に操作を説明します。

1. 業務メニューで「引渡」を押すと、認証画面が表示されます。



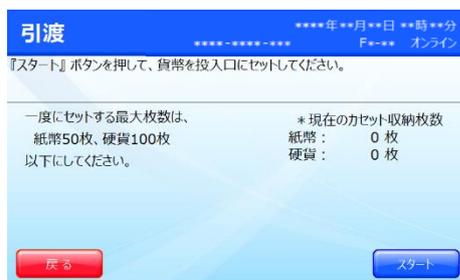
2. 認証画面が表示されている状態で、磁気カードリーダーに ID カードを通します。



#### 📖 参照

- 磁気カードリーダーの詳細は、「2.1 磁気カードリーダー(P.15)」を参照してください。

3. ID カード認証が成功すると、タッチパネル表示部に引渡開始画面が表示されます。



#### 📖 補足

- ID カードには、取引ごとに操作する権限を持っています。権限が無い ID カードは、該当の取引を操作できません。

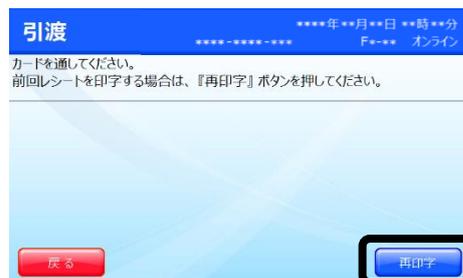
### 3.1.2. 再印字

レシートを印字する各取引は、認証画面で前回の取引レシートを再印字することができます。  
ここでは、引渡を例に再印字の操作を説明します。

1. 業務メニューで「引渡」ボタンを押すと、  
認証画面が表示されます。



2. 「再印字」ボタンを押すと、  
前回の引渡レシートが印字されます。



## 3.2. 引渡

引渡は、投入口にセットされた紙幣および硬貨を計数し、回収カセットへ収納する操作です。

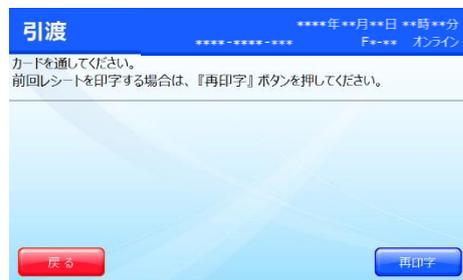
### 補足

- 両替金が硬貨カセットに格納されている場合、引渡の操作はできません。

### 1. 業務メニューの「引渡」ボタンを押します。



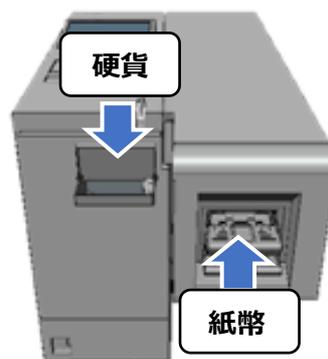
### 2. ID カード認証を行います。



### 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。
- 再印字の操作は、「3.1.2 再印字(P.32)」を参照してください。

### 3. 「スタート」ボタンを押して、貨幣（紙幣/硬貨）を投入口へセットします。



**▲ 注意**

- 一回の操作で投入できる最大枚数は、紙幣は **50枚**、硬貨は **100枚**です。  
最大投入枚数を超えて貨幣を投入しないでください。
- 紙幣を投入する際は、「2.2.2 紙幣投入時の注意点(P.16)」を守ってください。
- 硬貨を投入する際は、「2.3.2 硬貨投入時の注意点(P.19)」を守って、ゆっくりと流し入れてください。

#### 4. 投入された貨幣の計数が開始され、処理が完了すると、計数結果が表示されます。

\*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日 \*\*時\*\*分  
\*\*\*\*\* F\*\*\* オンライン

追加で引渡する場合は『スタート』ボタンを押して貨幣をセットしてください。  
取引を完了する場合は『確定』ボタンを押してください。

一度にセットする最大枚数は、  
紙幣50枚、硬貨100枚  
以下にしてください。

\*現在のカセット収納枚数  
紙幣： 0枚  
硬貨： 0枚

**計数金額**  
18,666円

取消 確定 スタート

**📖 補足**

- 鑑別できなかった貨幣は、返却口へ排出されます。返却口に貨幣がないか確認してください。
- 追加で入金する場合は、再度「スタート」ボタンを押して、貨幣をセットしてください。
- 「詳細」ボタンを押すと、計数金額の金種ごとの枚数と、金額を確認することができます。

\*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日 \*\*時\*\*分  
\*\*\*\*\* F\*\*\* オンライン

計数結果の詳細を確認完了後、『閉じる』ボタンを押してください。

万券： 1枚	10,000円	五百円： 1枚	500円
五千券： 1枚	5,000円	百円： 1枚	100円
二千券： 1枚	2,000円	五十円： 1枚	50円
千券： 1枚	1,000円	十円： 1枚	10円
		五円： 1枚	5円
		一円： 1枚	1円
紙幣計	18,000円	硬貨計	666円
		合計	18,666円

閉じる

- 引渡を中止する場合は、「取消」ボタンを押してください。計数した貨幣が返却口へ排出されます。貨幣の返却操作は、「引渡を取り消した場合の返却操作(P.36)」を参照してください。
- 紙幣または硬貨のどちらかが、1度に投入できる枚数（紙幣：**100枚**、硬貨：**300枚**）に達すると、自動的に回収カセットへ収納されます（自動収納といいます）。自動収納された貨幣は、「取消」ボタンを押しても返却されません。

\*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日 \*\*時\*\*分  
\*\*\*\*\* F\*\*\* オンライン

追加で引渡する場合は『スタート』ボタンを押して貨幣をセットしてください。  
取引を完了する場合は『確定』ボタンを押してください。

一度にセットする最大枚数は、  
紙幣50枚、硬貨100枚  
以下にしてください。

一度に投入できる枚数の上限に達しました。  
収納中ですので、お待ちください。

ト収納枚数  
枚  
枚

取消 確定 スタート

### 5. 計数金額を確認し、追加で投入する貨幣が無ければ、「確定」ボタンを押します。



#### 補足

- 計数結果画面で、1分以上ボタンを操作しない場合、自動的に「確定」ボタンが押されたとき、貨幣が収納されます（通常は1分ですが、装置の設定に応じて、時間は変動します）。

### 6. 貨幣が回収カセットへ収納されます。収納が完了すると、引渡レシートが印字されます。



### 7. 未計数の硬貨を硬貨返却口に排出します。



#### 補足

- 未計数の硬貨とは、計数されず、硬貨ユニット内に残留していた硬貨です。返却口に硬貨がないか確認してください。
- 未計数の硬貨を入金したい場合は、再度、引渡操作をしてください。

### 8. 引渡操作がすべて完了すると、業務メニューへ戻ります。



## ● 引渡を取り消した場合の返却操作

引渡操作を途中で中止した場合の操作です。返却は、「硬貨」、「紙幣」の順に排出します。

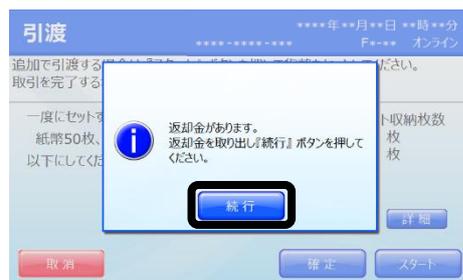
### 1. 「取消」ボタンを押します。



### 2. 硬貨返却口に硬貨が排出されます (硬貨を投入していない場合は、手順 4 へ進んでください)。



### 3. 返却口から硬貨を取り除き、「続行」ボタンを押します。



#### ☑ 補足

- 一回の返却で、**最大 150 枚**排出されます。そのため、返却回数は、**最大 2 回**です。  
(例) 硬貨を 300 枚投入している場合、150 枚の硬貨を 2 回に分けて排出します。

#### ⚠ 注意

- 「続行」ボタンを押す前に、必ず返却口の硬貨を取り除いてください。返却口から硬貨を取り除かない場合、返却口の硬貨があふれ、床上に散乱するおそれがあります。

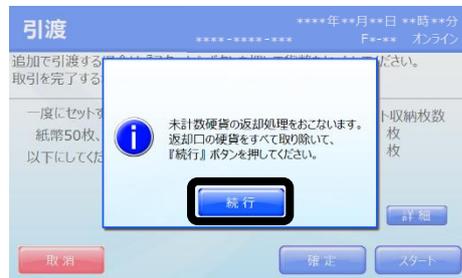
### 4. 紙幣が排出されるため、返却口から紙幣を取り除きます (紙幣を投入していない場合は、手順 5 へ進んでください)。



### 補足

- 一回の返却で、**最大 50 枚**排出されます。そのため、返却回数は、**最大 2 回**です。  
(例) 紙幣を 100 枚投入している場合、50 枚の紙幣を 2 回に分けて排出します。
- 取り忘れ防止のため、紙幣返却口に排出された紙幣を 5 秒以内に取り除かないと、アラーム音が鳴ります。

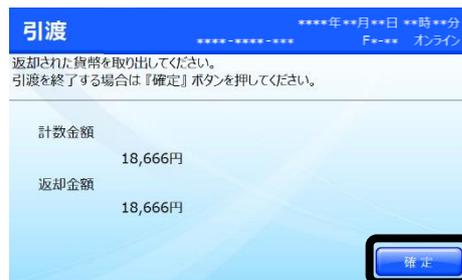
## 5. 未計数の硬貨を返却するため、「続行」ボタンを押し、硬貨返却口に未計数の硬貨を排出します。



### 補足

- 未計数の硬貨とは、硬貨ユニット内に残留していた硬貨です。硬貨が返却口にないか確認してください。

## 6. 計数金額、返却金額を確認し、「確定」ボタンを押します。



### 補足

- 計数金額は、取引中に計数した金額の総合計です（自動収納した分も含みます）。
- 返却金額は、返却操作で返却した金額です。

## 7. 返却操作がすべて完了すると、業務メニューへ戻ります。



### 3.3. 金額指定

金額指定は、最初に引渡する金額を指定し、引渡操作を行います。指定した金額を超えた紙幣・硬貨を投入すると、返却口へ排出されます。投入操作は、紙幣、硬貨の順に行い、回収カセットへ収納します。

#### 補足

- 両替金が硬貨カセットに格納されている場合、金額指定の操作はできません。

1. 業務メニューの「金額指定」ボタンを押します。



2. ID カード認証を行います。



#### 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。
- 再印字の操作は、「3.1.2 再印字(P.32)」を参照してください。

3. 引渡金額の右側にある「入力」ボタンを押し、テンキーを表示させます。



4. 引渡金額を入力し、「OK」ボタンを押します。



5. 入力した引渡金額に誤りがなければ、「スタート」ボタンを押して、紙幣を投入口へセットします。

金額指定

\*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日 \*\*時\*\*分  
\*\*\*\*\* F\*\*\* オンライン

引渡金額を入力後、『スタート』ボタンを押して、投入口に紙幣をセットしてください。  
硬貨のみ引渡を行う場合は、『硬貨引渡』ボタンを押してください。

一度にセットする最大枚数は、  
紙幣50枚、硬貨100枚  
以下にしてください。

引渡金額 18,666 円 入力

\*現在のカセット収納枚数  
紙幣: 0 枚  
硬貨: 0 枚

戻る 硬貨引渡 スタート



#### ⚠ 注意

- 一回の操作で投入できる紙幣は、**最大 50 枚**です。最大投入枚数を超過して紙幣を投入しないでください。
- 紙幣を投入する際は、「2.2.2 紙幣投入時の注意点(P.16)」を守ってください。

#### 📄 補足

- 紙幣を投入しない場合は、「スタート」ボタンを押さないで、手順 7 へ進んでください。
- 引渡金額（入力値）と計数金額の差額が、1,000 円未満の場合、紙幣の投入ができません。手順 7 へ進んでください。

6. 投入された紙幣の計数が開始され、処理が完了すると、計数結果が表示されます。

金額指定

\*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日 \*\*時\*\*分  
\*\*\*\*\* F\*\*\* オンライン

紙幣を追加する場合は『スタート』ボタンを、硬貨を追加する場合は『硬貨引渡』ボタンを、取引を完了する場合は『確定』ボタンを押してください。

一度にセットする最大枚数は、  
紙幣50枚、硬貨100枚  
以下にしてください。

引渡金額 (入力値) 18,666円  
計数金額 18,000円  
差額 666円

\*現在のカセット収納枚数  
紙幣: 0 枚  
硬貨: 0 枚

詳細

取消 硬貨引渡 確定 スタート

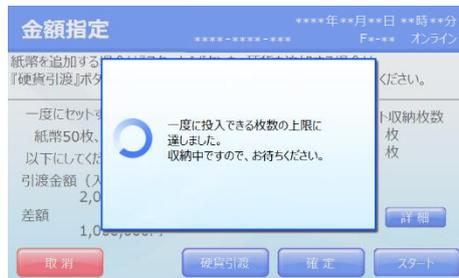
#### 📄 補足

- 「鑑別できなかった紙幣」および「引渡金額（入力値）を超えた分の紙幣」は、返却口へ排出されます。返却口に紙幣がないか確認してください。
- 追加で紙幣を入金する場合は、再度「スタート」ボタンを押して、紙幣をセットしてください。
- 紙幣の投入が完了し、硬貨を投入する場合は手順 7 へ、硬貨を投入しない場合は手順 9 へ進んでください。
- 金額指定を中止する場合は、「取消」ボタンを押してください。計数した貨幣が返却口へ排出されます。貨幣の返却操作は、「金額指定を途中で取り消した場合の操作(P.43)」を参照してください。

- 「詳細」ボタンを押すと、計数金額の金種ごとの枚数と、金額を確認することができます。

金額指定					
計数結果の詳細を確認完了後、『閉じる』ボタンを押してください。					
万券:	1枚	10,000円	五百円:	1枚	500円
五千券:	1枚	5,000円	百円:	1枚	100円
二千券:	1枚	2,000円	五十円:	1枚	50円
千券:	1枚	1,000円	十円:	1枚	10円
			五円:	1枚	5円
			一円:	1枚	1円
紙幣計	18,000円		硬貨計	666円	
			合計	18,666円	

- 紙幣が、1度に投入できる枚数（**100枚**）に達すると自動的に回収カセットへ収納されます（自動収納といいます）。自動収納された紙幣は、「取消」ボタンを押しても返却されません。



- 計数結果画面で、1分以上ボタンを操作しない場合、自動的に「確定」ボタンが押されたとき、貨幣が収納されます（通常は1分ですが、装置の設定に応じて、時間は変動します）。

## 7. 硬貨を投入するため、「硬貨引渡」ボタンを押します。

金額指定			
紙幣を追加する場合は「スタート」ボタンを、硬貨を追加する場合は「硬貨引渡」ボタンを、取引を完了する場合は「確定」ボタンを押してください。			
一度にセットする最大枚数は、紙幣50枚、硬貨100枚以下にしてください。	*現在のセット収納枚数 紙幣: 0枚 硬貨: 0枚	引渡金額 (入力値) 18,666円	計数金額 18,000円
差額 666円			

### 補足

- 「硬貨引渡」ボタンを押してしまうと、紙幣の投入はできません。

## 8. 「スタート」ボタンを押して、硬貨を投入口へセットします。

金額指定		****年**月**日 **時**分
*****-*****-**** F** ** オンライン		
硬貨を追加する場合は『スタート』ボタンを押して硬貨をセットしてください。 取引を完了する場合は『確定』ボタンを押してください。		
一度にセットする最大枚数は、 紙幣50枚、硬貨100枚 以下にしてください。	*現在のカセット収納枚数 紙幣： 0枚 硬貨： 0枚	
引渡金額 (入力値) 18,666円	計数金額	
差額 666円	18,000円	<input type="button" value="詳細"/>
<input type="button" value="取消"/>	<input type="button" value="手続印刷"/>	<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="スタート"/>



### ⚠ 注意

- 一回の操作で、投入できる硬貨は、**最大 100 枚**です。最大投入枚数を超えて硬貨を投入しないでください。
- 硬貨を投入する際は、「2.3.2 硬貨投入時の注意点(P.19)」を守って、ゆっくりと流し入れてください。

### 📄 補足

- 「鑑別できなかった硬貨」および「入力した引渡金額を超えた分の硬貨」は、返却口へ排出されます。返却口に硬貨がないか確認してください。
- 追加で硬貨を入金する場合は、再度「スタート」ボタンを押して、硬貨をセットしてください。
- 硬貨が、1度に投入できる枚数 (**300 枚**) に達すると、自動的に回収カセットへ収納されます (自動収納といいます)。自動収納された硬貨は、「取消」ボタンを押しても返却されません。

## 9. 計数金額を確認し、差額が 0 円であれば、「確定」ボタンを押します。

金額指定		****年**月**日 **時**分
*****-*****-**** F** ** オンライン		
硬貨を追加する場合は『スタート』ボタンを押して硬貨をセットしてください。 取引を完了する場合は『確定』ボタンを押してください。		
一度にセットする最大枚数は、 紙幣50枚、硬貨100枚 以下にしてください。	*現在のカセット収納枚数 紙幣： 0枚 硬貨： 0枚	
引渡金額 (入力値) 18,666円	計数金額	
差額 0円	18,666円	<input type="button" value="詳細"/>
<input type="button" value="取消"/>	<input type="button" value="手続印刷"/>	<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="スタート"/>

**補足**

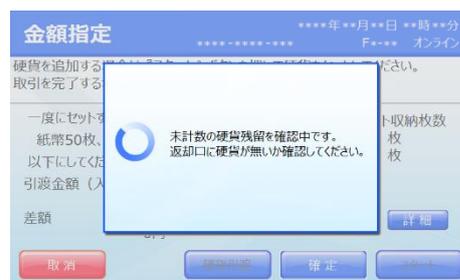
- 差額がある[引渡金額 (入力値) に達していない]場合に「確定」ボタンを押すと、右の確認メッセージが表示されます。
- 差額があっても収納したい場合は、「はい」ボタンを押してください。



- 10. 硬貨が回収カセットへ収納されます。収納が完了すると、引渡レシートが印字されます。**



- 11. 未計数の硬貨を硬貨返却口に排出します。**

**補足**

- 未計数の硬貨とは、計数されず、硬貨ユニット内に残留していた硬貨です。返却口に硬貨がないか、確認してください。
- 未計数の硬貨を入金したい場合は、再度、引渡操作をしてください。

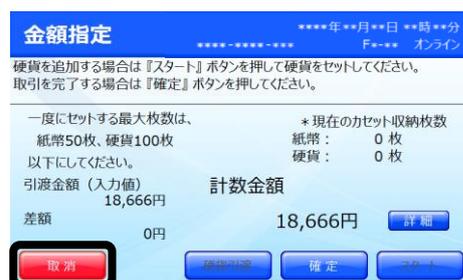
- 12. 金額指定の操作がすべて完了すると、業務メニューへ戻ります。**



## ● 金額指定を途中で取り消した場合の操作

金額指定の操作を途中で中止した場合の操作です。返却は、「硬貨」、「紙幣」の順に排出します。

### 1. 「取消」ボタンを押します。



### 2. 硬貨返却口に硬貨が排出されます (硬貨を投入していない場合は、手順 4 へ 進んでください)。



### 3. 返却口から硬貨を取り除き、「続行」ボタンを 押します。



#### ☑ 補足

- 一回の返却で、**最大 150 枚**排出されます。そのため、返却回数は、**最大 2 回**です。  
(例) 硬貨を 300 枚投入している場合、150 枚の硬貨を 2 回に分けて排出します。

#### ⚠ 注意

- 「続行」ボタンを押す前に、必ず返却口の硬貨を取り除いてください。返却口から硬貨を取り除かない場合、返却口の硬貨があふれ、床上に散乱するおそれがあります。

### 4. 紙幣が排出されるため、返却口から紙幣を 取り除きます (紙幣を投入していない場合は、 手順 5 へ進んでください)。



### 補足

- 一回の返却で、**最大 50 枚**排出されます。そのため、返却回数は、**最大 2 回**です。  
(例) 紙幣を 100 枚投入している場合、50 枚の紙幣を 2 回に分けて排出します。
- 取り忘れ防止のため、紙幣返却口に排出された紙幣を 5 秒以内に取り除かないと、アラーム音が鳴ります。

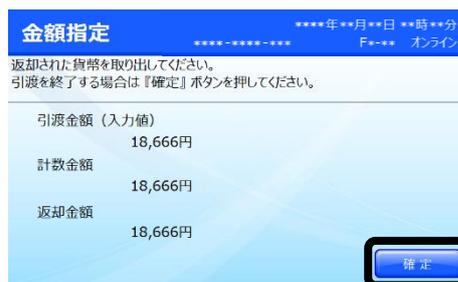
## 5. 未計数の硬貨を返却するため、「続行」ボタンを押し、硬貨返却口に未計数の硬貨を排出します。



### 補足

- 未計数の硬貨とは、硬貨ユニット内に残留していた硬貨です。硬貨が返却口にはないか確認してください。

## 6. 計数金額、返却金額を確認し、「確定」ボタンを押します。



### 補足

- 計数金額 (入力値) は、最初に入力した引渡金額です。
- 計数金額は、取引中に計数した金額の総合計です (自動収納した分も含みます)。
- 返却金額は、返却操作で返却した金額です。

## 7. 返却操作がすべて完了すると、業務メニューへ戻ります。



## 3.4. 締め

締めは、前回締めから引渡された金額の合計を集計する操作です。締め操作が完了すると、本装置のシステムが再起動されます。

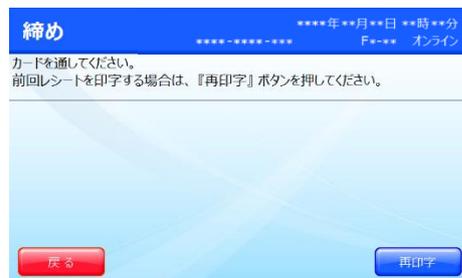
### 補足

- 両替金が硬貨カセットに格納されている場合、締めの操作はできません。

#### 1. 業務メニューの「締め」ボタンを押します。



#### 2. ID カード認証を行います。



### 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。
- 再印字の操作は、「3.1.2 再印字(P.32)」を参照してください。

#### 3. 「確定」ボタンを押すと、締め処理が行われ、締めレシートが印字されます。

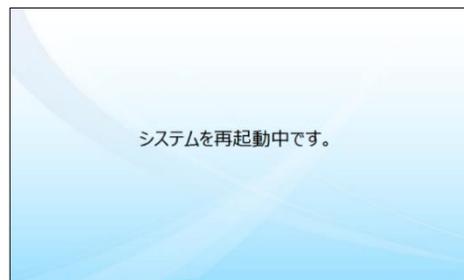


#### 4. 締め処理が完了したあとに「確定」ボタンを押します。



**補足**

- 「確定」ボタンを押すと、装置が再起動されます。再起動が完了するまで、装置の操作ができません（再起動には、5分ほどかかります）。

**5. 再起動が完了すると、業務メニューが表示されます。**

## 3.5. 計数

計数は、投入口にセットされた紙幣および硬貨を計数し、金種ごとの金額および枚数を確認する操作です。計数した紙幣および硬貨は、すべて返却口より排出されます。

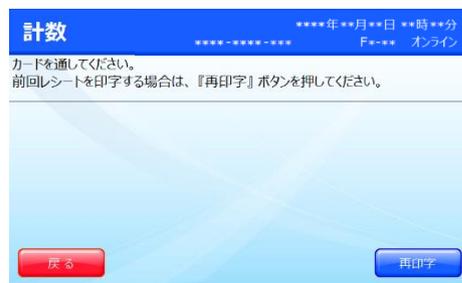
### 補足

- 両替金が硬貨カセットに格納されている場合、計数の操作はできません。

### 1. 業務メニューの「計数」ボタンを押します。



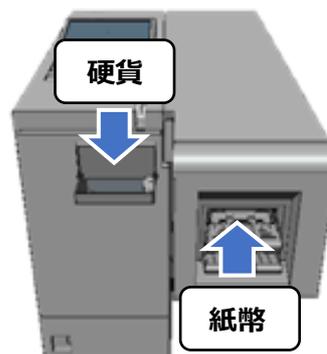
### 2. ID カード認証を行います。



### 参照

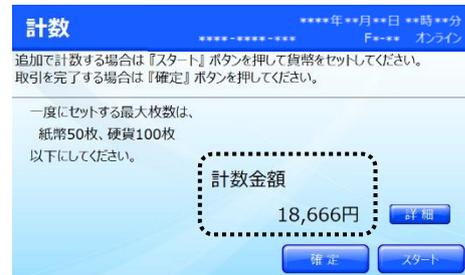
- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。
- 再印字の操作は、「3.1.2 再印字(P.32)」を参照してください。

### 3. 「スタート」ボタンを押して、貨幣（紙幣/硬貨）を投入口へセットします。



**⚠ 注意**

- 一回の操作で投入できる最大枚数は、紙幣は **50枚**、硬貨は **100枚**です。  
最大投入枚数を超えて貨幣を投入しないでください。
- 紙幣を投入する際は、「2.2.2 紙幣投入時の注意点(P.16)」を守ってください。
- 硬貨を投入する際は、「2.3.2 硬貨投入時の注意点(P.19)」を守って、ゆっくりと流し入れてください。

**4. 投入された貨幣の計数が開始され、計数が完了すると、計数結果が表示されます。****📖 補足**

- 鑑別できなかった貨幣は、返却口へ排出されます。返却口に貨幣がないか確認してください。
- 追加で貨幣を投入する場合は、再度「スタート」ボタンを押して、貨幣をセットしてください。
- 「詳細」ボタンを押すと、計数金額の金種ごとの枚数と金額を確認することができます。

計数

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日 \*\*時\*\*分  
\*\*\*\*\*-\*\*\*\*\*-\*\*\*\*\* F---\* オンライン

計数結果の詳細を確認完了後、『閉じる』ボタンを押してください。

万券： 1枚	10,000円	五百円： 1枚	500円
五千券： 1枚	5,000円	百円： 1枚	100円
二千券： 1枚	2,000円	五十円： 1枚	50円
千券： 1枚	1,000円	十円： 1枚	10円
		五円： 1枚	5円
		一円： 1枚	1円
紙幣計	18,000円		
		硬貨計	666円
		合計	18,666円

閉じる

- 紙幣または硬貨のどちらかが、1度に投入できる枚数（一時保留部フルといいます。紙幣：**100枚**、硬貨：**300枚**）に達すると、自動的に計数済みの貨幣を返却口へ排出します。
- 貨幣の返却操作は、手順 7～11 を参照してください。

**⚠ 注意**

- 「自動返却された計数済みの貨幣」と「未計数の貨幣」を分別し、混ざらないようにしてください。  
「自動返却された貨幣」を再び投入口に投入してしまうと、計数結果が合わなくなります。

5. 計数金額を確認し、追加で投入する貨幣が無ければ、「確定」ボタンを押します。



6. 計数レシートが印字され、計数した貨幣を返却します。



7. 硬貨返却口に硬貨が排出されます  
(硬貨を投入していない場合は、手順 9 へ進んでください)。



8. 返却口から硬貨を取り除き、「続行」ボタンを押します。



#### 補足

- 一回の返却で、**最大 150 枚**排出されます。そのため、返却回数は、**最大 2 回**です。  
(例) 硬貨を 300 枚投入している場合、150 枚の硬貨を 2 回に分けて排出します。

#### 注意

- 「続行」ボタンを押す前に、必ず返却口の硬貨を取り除いてください。返却口から硬貨を取り除かない場合、返却口の硬貨があふれ、床上に散乱するおそれがあります。

9. 紙幣が排出されるため、返却口から紙幣を取り除きます（紙幣を投入していない場合は、手順 10 へ進んでください）。



#### 補足

- 一回の返却で、**最大 50 枚**排出されます。そのため、返却回数は、**最大 2 回**です。  
（例）紙幣を 100 枚投入している場合、50 枚の紙幣を 2 回に分けて排出します。
- 取り忘れ防止のため、紙幣返却口に排出された紙幣を 5 秒以内に取り除かないと、アラーム音が鳴ります。

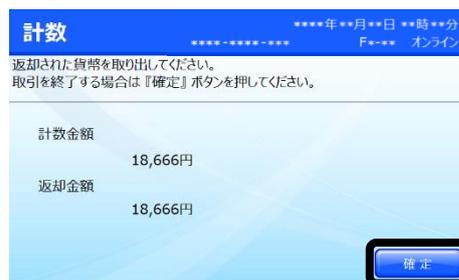
10. 未計数の硬貨を返却するため、「続行」ボタンを押し、硬貨返却口に未計数の硬貨を排出します。



#### 補足

- 未計数の硬貨とは、計数されず、硬貨ユニット内に残留していた硬貨です。返却口に硬貨がないか確認してください。
- 「未計数の硬貨」は、計数レシートの結果には含まれていません。「計数済みの硬貨」と「未計数の硬貨」を分別し、混ざらないようにしてください。

11. 計数金額、返却金額を確認し、「確定」ボタンを押します。



#### 補足

- 計数金額は、計数取引中に計数した金額の総合計です（途中で返却した分も含みます）。
- 返却金額は、一回の返却操作で返却した金額です。

**12. 計数操作がすべて完了すると、業務メニューへ戻ります。**



## 3.6. 両替金

両替金は、硬貨カセットにセットされた「両替金」を取り出す操作です。両替金が硬貨カセットにセットされている場合だけ、操作可能です。

### 1. 業務メニューの「両替金」ボタンを押します。



### 2. ID カード認証を行います。



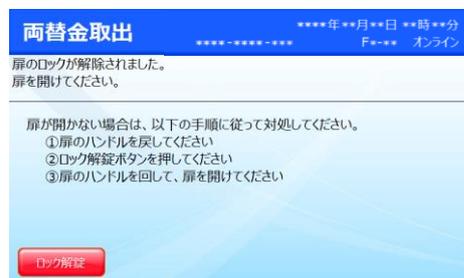
#### ☞ 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。

### 3. 「確定」ボタンを押して、前扉のロックを解除します。



### 4. 前扉を開けます。

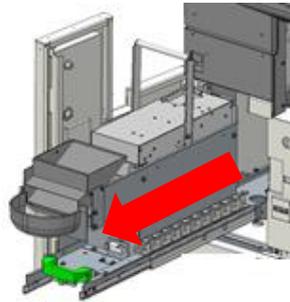


#### ☞ 参照

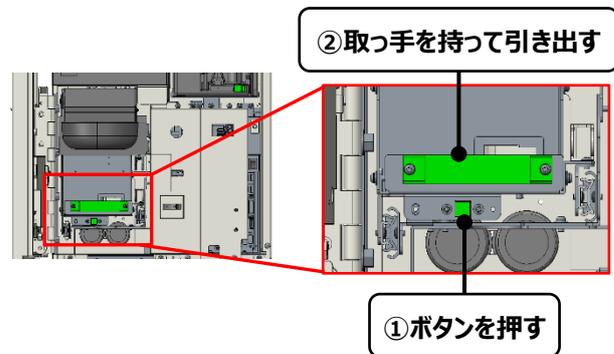
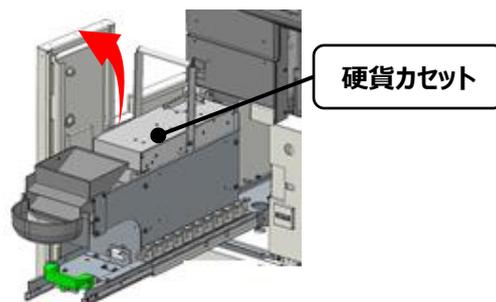
- 前扉の操作は、「2.5.1 前扉の開け方(P.27)」を参照してください。

**補足**

- 前扉の電磁ロックが解除される前に前扉を操作すると、前扉が開かない場合があります。前扉が開かない場合は、操作画面に表示されている下記の手順に従って対処してください。
  - ①前扉のハンドルを戻してください。
  - ②「ロック解除」ボタンを押してください。
  - ③前扉のハンドルを回して、前扉を開けてください。

**5. 硬貨カセット搭載台を前に引き出します。****補足**

- カセット搭載台は、搭載台の下部にある緑色のボタンを押すと、ロックが解除されます。ボタンを押して、搭載台を引き出すための取っ手を持って、前に引き出してください。

**6. 硬貨カセットを取り出します。****注意**

- 硬貨カセットは、重量があります。硬貨カセットの取っ手をしっかりと持ち、落下しないように注意してください。

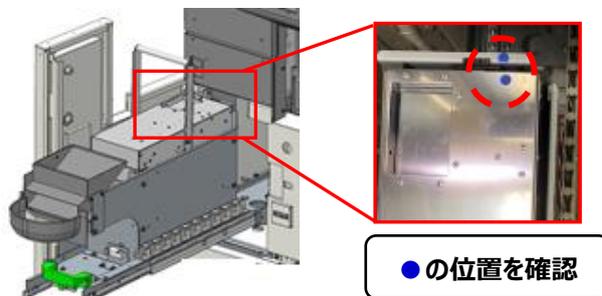
7. 硬貨カセットの鍵でカセットの扉を開け、両替金をすべて取り出します。



**補足**

- 硬貨カセットが水平な状態でカセット扉を開けてください。カセットを斜めにした状態で両替金を取り出すと、中身が飛び出すおそれがあります。
- 硬貨カセットの中を確認し、両替金をすべて取り出してください。硬貨カセットに両替金が残っている状態で操作を終了すると、引渡操作ができません。

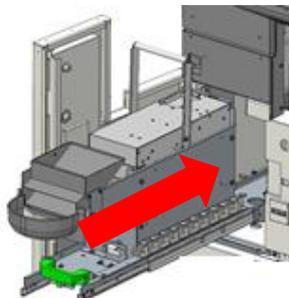
8. 硬貨カセットの鍵を閉め、硬貨カセットを元の位置に戻します。



**注意**

- 硬貨カセットは、ゆっくりと搭載台にセットしてください。乱暴に扱うと、故障の原因となります。
- 硬貨カセットは、カセット扉を装置側に向けて搭載台にセットしてください（●のシールの位置が一致していることを確認してください）。硬貨カセットを逆にセットすると、カセット搭載台を収納できません。

9. 硬貨カセット搭載台を装置内部へ収納します。



**補足**

- 硬貨カセット搭載台は、ロックがかかるまで収納してください。正しく収納しないと、前扉を閉めることができません。

## 10. 前扉を閉めます。

### ☞ 参照

- 前扉の操作は、「2.5.2 前扉の閉め方(P.28)」を参照してください。

## 11. 両替金の操作が完了すると、業務メニューに戻ります。



## 3.7. 取引履歴

本装置上で過去に行った取引の確認および取引レシートの再印字をしたい際に操作します。

### 補足

- 両替金が硬貨カセットに格納されている場合、取引履歴の操作はできません。

### 1. 業務メニューの「取引履歴」ボタンを押します。



### 2. ID カード認証を行います。



### 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。

### 3. 取引履歴が、取引日時の新しい順に表示されます。



### 補足

- 選択されている取引のレシートを再印字したい場合は、「印字」ボタンを押してください。
- 取引履歴は、操作当日分も含め、過去 62 日前まで確認できます。

- 表示する取引日付を変更したい場合は、「入力」ボタンを押し、テンキー画面を表示します。「一字消」または「全消」ボタンを押し、現在表示されている日付を消去してから、表示したい日付を入力し、「OK」ボタンを押してください。



- 取引履歴の操作が完了したら、「戻る」ボタンを2回押します。



- 業務メニューに戻ります。



## 3.8. ロック解除

紙幣ユニットまたは硬貨ユニットの電磁ロックを解除します。ユニット内部の清掃または点検を行う際に操作します。

### 補足

- 両替金が硬貨カセットに格納されている場合、ロック解除の操作はできません。

### 3.8.1. 紙幣ユニットのロック解除

1. 業務メニューの「ロック解除」ボタンを押します。



2. ID カード認証を行います。



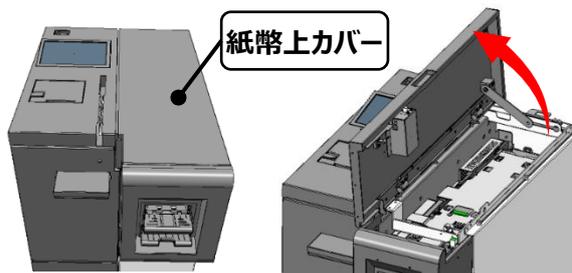
### 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。

3. 「紙幣」ボタン押し、紙幣ユニットの電磁ロックを解除します。

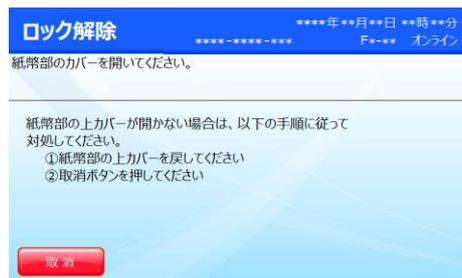


4. 紙幣上カバーを開きます。



**補足**

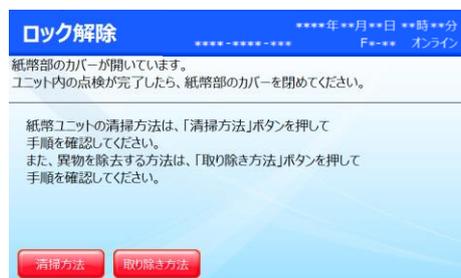
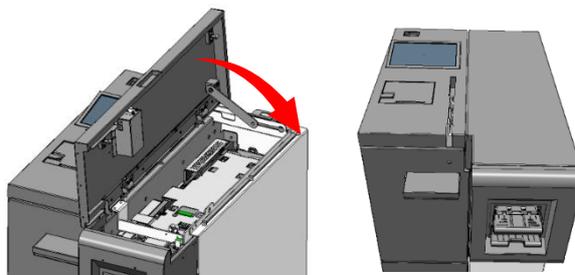
- 電磁ロックが解除される前に紙幣上カバーを操作すると、紙幣上カバーが開かない場合があります。その場合は、操作画面に表示されている下記の手順に従って対処してください。
  - ①紙幣上カバーを戻してください。
  - ②「取消」ボタンを押してください。

**5. 紙幣ユニットの清掃または点検を行います。****参照**

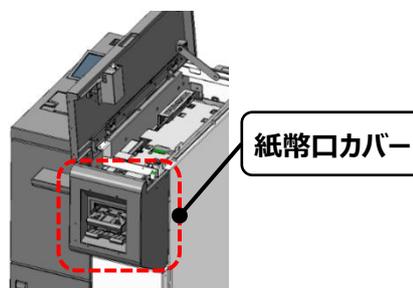
- 清掃方法は、「5.3 紙幣ユニットの清掃(P.74)」を参照してください。
- 点検方法は、「6.2 紙幣ユニットのエラー解除方法(P.84)」を参照してください。

**補足**

- 「清掃方法」ボタンを押すと、紙幣ユニットの清掃ガイダンスが再生されます。
- 「取り除き方法」ボタンを押すと、点検ガイダンス（紙幣つまりの取り除き方法）が再生されます。

**6. ユニット内の清掃/点検作業が完了したあとに紙幣上カバーを閉めます。****補足**

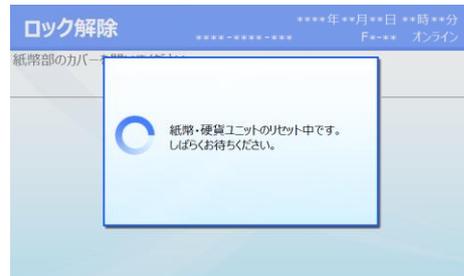
- 紙幣口カバーを開けた場合は、紙幣上カバーを閉める前に必ず紙幣口カバーを閉じてください。



7. 紙幣上カバーと紙幣口カバーが正しく閉じられていることを確認し、「はい」ボタンを押します。



8. 紙幣ユニットの電磁ロックが施錠され、紙幣/硬貨ユニットのリセットが行われます。



#### 補足

- リセットでエラーが発生した場合は、「6.2 紙幣ユニットのエラー解除方法(P.84)」を参照してください。

9. リセットが正常に完了すると、業務メニューに戻ります。



### 3.8.2. 硬貨ユニットのロック解除

1. 業務メニューの「ロック解除」ボタンを押します。



2. ID カード認証を行います。



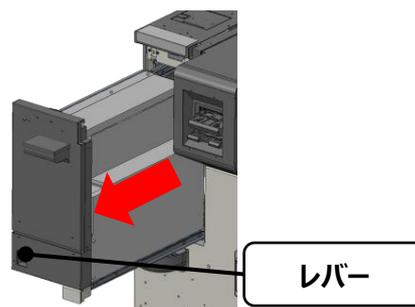
#### ☞ 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。

3. 「硬貨」ボタンを押し、硬貨ユニットの電磁ロックを解除します。

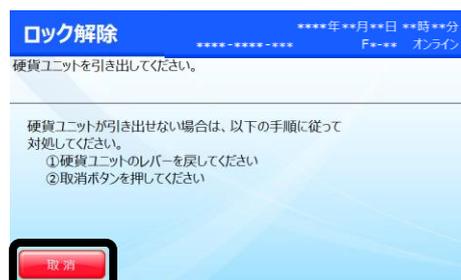


4. 硬貨ユニットのレバーを引いて、硬貨ユニットを引き出します。



#### 📖 補足

- 電磁ロックが解除される前にレバーを操作すると、硬貨ユニットが引き出せない場合があります。その場合は、操作画面に表示されている下記の手順に従って対処してください。
  - ①硬貨ユニットのレバーを戻してください。
  - ②「取消」ボタンを押してください。



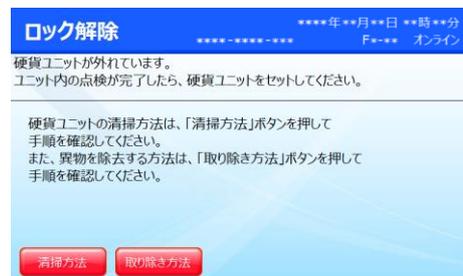
## 5. 硬貨ユニットの清掃または点検を行います。

### ☞参照

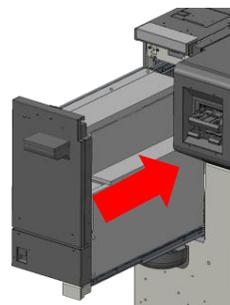
- 清掃方法は、「5.4 硬貨ユニットの清掃(P.80)」を参照してください。
- 点検方法は、「6.3 硬貨ユニットのエラー解除方法(P.94)」を参照してください。

### 📖補足

- 「清掃方法」ボタンを押すと、硬貨ユニットの清掃ガイダンスが再生されます。
- 「取り除き方法」ボタンを押すと、点検ガイダンス（硬貨つまりの取り除き方法）が再生されます。



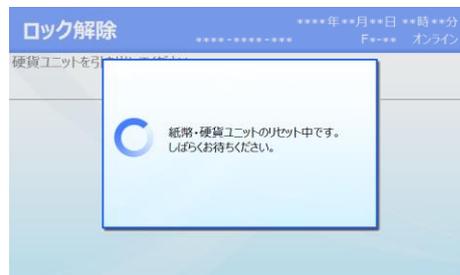
## 6. ユニット内の点検/清掃作業が完了したあとに硬貨ユニットを押し戻して、収納します。



## 7. 硬貨ユニットが正しく収納されていることを確認し、「はい」ボタンを押します。



## 8. 硬貨ユニットの電磁ロックが施錠され、紙幣/硬貨ユニットのリセットが行われます。



### 📖補足

- リセットでエラーが発生した場合は、「6.3 硬貨ユニットのエラー解除方法(P.94)」を参照してください。

9. リセットが正常に完了すると、業務メニューに戻ります。



## 第4章 保守メニューの操作

ここでは、保守メニューで行う操作手順を説明します。

### ☞ 参照

- 保守メニューの説明は、「1.3.3 保守メニュー(P.14)」を参照してください。

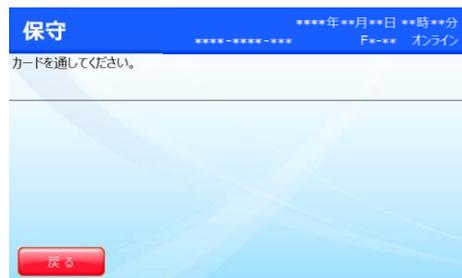
### 4.1. 保守メニューの表示方法

保守メニューは、業務メニューの「保守」ボタンを押し、ID カードの認証操作を行うと表示されます。

#### 1. 業務メニューの「保守」ボタンを押します。



#### 2. ID カード認証を行います。



### ☞ 参照

- ID カード認証の操作は、「3.1.1 ID カード認証(P.31)」を参照してください。

#### 3. 保守メニューが表示されます。



## 4.2. Zレシート

Zレシートは、手入力した「Zレシート」、「手持金」の金額と、「SD 機レジ合計（入金機有高）」を印字し、さらに計算した差額を印字するレシートです。

### 補足

- レシートに印字する差額は、以下の計算式で算出されます。  
「SD 機レジ合計（入金機有高）」 + 「手持金」 - 「Zレシート」

1. 保守メニューの「Zレシート」ボタンを押します。



2. Zレシート右側の「入力」ボタンを押し、テンキーを表示させます。



3. Zレシートの金額を入力し、「OK」ボタンを押します。



4. 金額に誤りがなければ、「確定」ボタンを押します。



5. 手持金右側の「入力」ボタンを押し、  
テンキーを表示させます。



6. 手持金の金額を入力し、「OK」ボタンを  
押します。



7. 金額に誤りがなければ、「確定」ボタンを  
押します。



8. Zレシートが印字され、業務メニューに  
戻ります。



### 4.3. 収納部開

回収カセットが格納されている前扉を開ける際に操作します。通常の運用では、収納部開の操作をする必要はありません。本装置のメンテナンス部門より、指示された場合に操作してください。

#### 補足

➤ 前扉を開けるには、パスワードが必要です。メンテナンス部門にパスワードを確認してください。

1. 保守メニューの「収納部開」ボタンを押します。



2. パスワード右側の「入力」ボタンを押します。



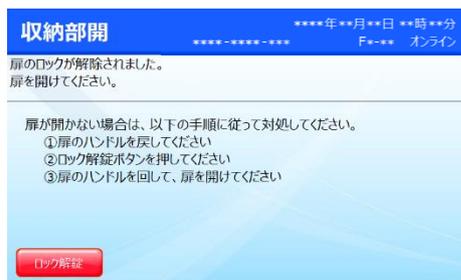
3. パスワードを入力し、「OK」ボタンを押します。



4. 「確定」ボタンを押して、前扉のロックを解除します。



## 5. 前扉を開けます。



### ☞ 参照

- 前扉の操作は、「2.5.1 前扉の開け方(P.27)」を参照してください。

### 📖 補足

- 前扉の電磁ロックが解除される前に前扉を操作すると、前扉が開かない場合があります。前扉が開かない場合は、操作画面に表示されている下記の手順に従って対処してください。
  - ① 前扉のハンドルを戻してください。
  - ② 「ロック解除」ボタンを押してください。
  - ③ 前扉のハンドルを回して、前扉を開けてください。

## 6. 紙幣カセットを交換します（交換しない場合は、手順 7 へ進んでください）。

### ☞ 参照

- 詳細な交換手順は、「紙幣カセットの交換方法(P.69)」を参照してください。

## 7. 硬貨カセットを交換します（交換しない場合は、手順 8 へ進んでください）。

### ☞ 参照

- 詳細な交換手順は、「硬貨カセットの交換方法(P.70)」を参照してください。

## 8. 前扉を閉めます。

### ☞ 参照

- 前扉の操作は、「2.5.2 前扉の閉め方(P.28)」を参照してください。

## 9. カセット交換の操作が完了すると、業務メニューへ戻ります。



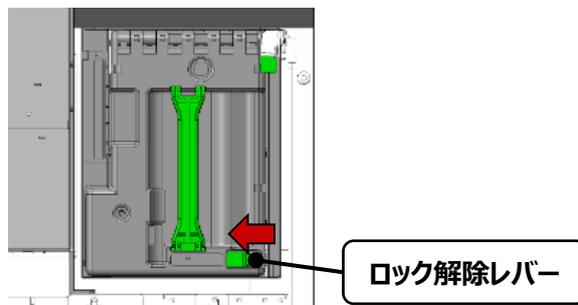
## ● 紙幣カセットの交換方法

カセット交換で、紙幣カセットを交換する手順を抜粋して記載しています。

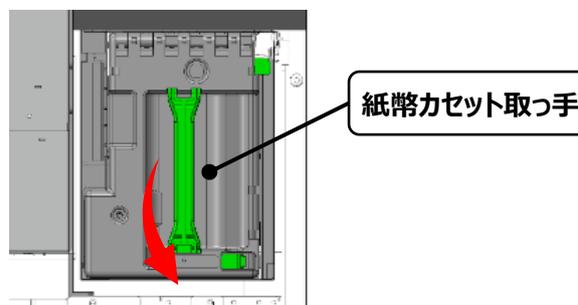
### 📖 参照

- 紙幣カセットの位置は、「1.2 ユニット・レイアウト (P.11)」を参照してください。

1. 紙幣カセットのロック解除レバーを左側にスライドします。



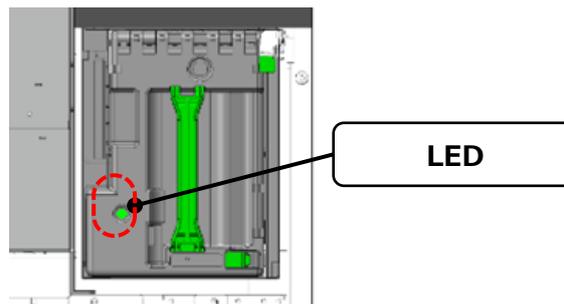
2. 取っ手を持ち、紙幣カセットを取り出します。



### 📖 補足

- ロック解除レバーを押しながら、紙幣カセットを手前に引き出してください。

3. 交換用の紙幣カセットを装置にセットします。



### 📖 補足

- 紙幣カセットがロックされ、手前に引いても抜けないことを確認してください。
- 紙幣カセットの LED が緑色に点灯していることを確認してください。

### ⚠ 注意

- 紙幣カセットは、ゆっくりと搭載台にセットしてください。乱暴に扱うと、故障の原因となります。

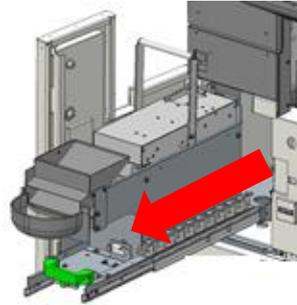
## ● 硬貨カセットの交換方法

カセット交換で、硬貨カセットを交換する手順を抜粋して記載しています。

### 📖 参照

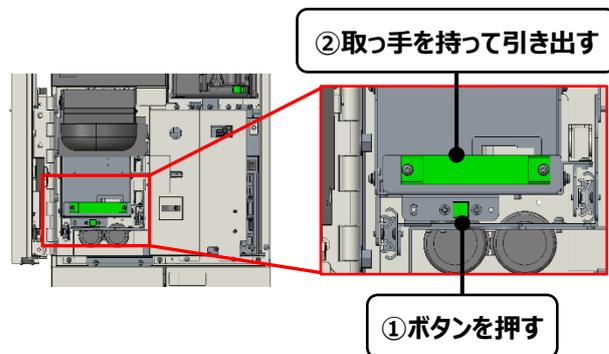
- 硬貨カセットの位置は、「1.2 ユニット・レイアウト (P.11)」を参照してください。

### 1. 硬貨カセット搭載台を前に引き出します。

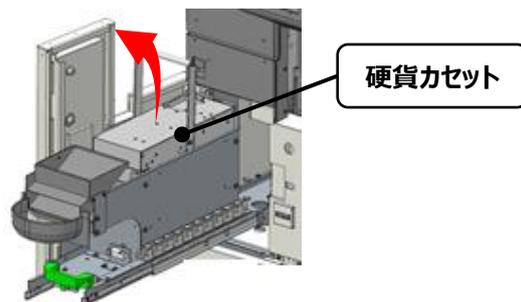


### 📖 補足

- カセット搭載台は、搭載台の下部にある緑色のボタンを押すと、ロックが解除されます。ボタンを押して、搭載台を引き出すための取っ手を持って、前に引き出してください。



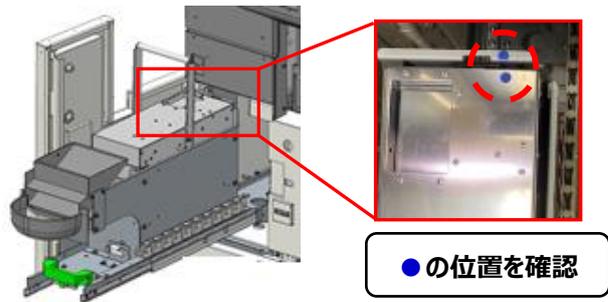
### 2. 硬貨カセットを取り出します。



### ⚠ 注意

- 硬貨カセットは、重量があります。硬貨カセットの取っ手をしっかりと持ち、落下しないように注意してください。

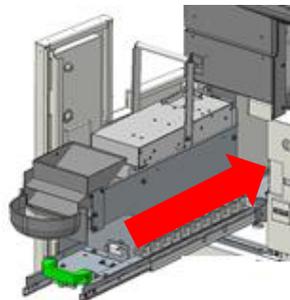
### 3. 交換用の硬貨カセットを搭載台へセットします。



#### ⚠ 注意

- 硬貨カセットは、ゆっくりと搭載台にセットしてください。乱暴に扱うと、故障の原因となります。
- 硬貨カセットは、カセット扉を装置側に向けて搭載台にセットしてください（●のシールの位置が一致していることを確認してください）。硬貨カセットを逆にセットすると、カセット搭載台を収納できません。

### 4. 硬貨カセット搭載台を装置内部へ収納します。



#### 📖 補足

- 硬貨カセット搭載台は、ロックがかかるまで収納してください。正しく収納しないと、前扉を閉めることができません。

## 4.4. 再起動

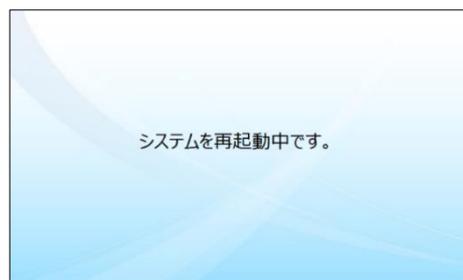
装置の再起動を行う操作です。通常の運用では、再起動の操作をする必要はありません。  
本装置のメンテナンス部門より指示された場合に操作してください。

### 1. 保守メニューの「再起動」ボタンを押します。



#### 補足

- 再起動が完了するまで、装置の操作ができません  
(再起動には、5分ほどがかかります)。



### 2. 再起動が完了すると、業務メニューが表示されます。



## 第5章 装置メンテナンス

ここでは、装置のメンテナンス方法を説明します。

### 5.1. 清掃用具の準備

紙幣/硬貨ユニットの清掃には、「乾いた布」または「マイクロファイバークロス（主に眼鏡拭きで使用される布）」を用意してください。ユニット内の各部をふき取る際に使用します。

#### ▲ 注意

- 使用する布は、**濡らさず、乾いたまま使用**してください。
- 以下の物は、**絶対に使用しない**ください。装置故障の原因となります。
  - ① ウエットティッシュ
  - ② 濡れたタオル
  - ③ ティッシュペーパー



### 5.2. 清掃ガイダンスの確認

紙幣/硬貨ユニットの清掃は、保守メニューのロック解除で行います。ロック解除を操作して、それぞれのユニットを開けると、清掃ガイダンスを再生できます。このガイダンスに従って、清掃を行ってください。

#### 📖 参照

- 紙幣ユニットの清掃ガイダンスの再生方法は、「3.8.1 紙幣ユニットのロック解除(P.58)」を参照してください。
- 硬貨ユニットの清掃ガイダンスの再生方法は、「3.8.2 硬貨ユニットのロック解除(P.61)」を参照してください。

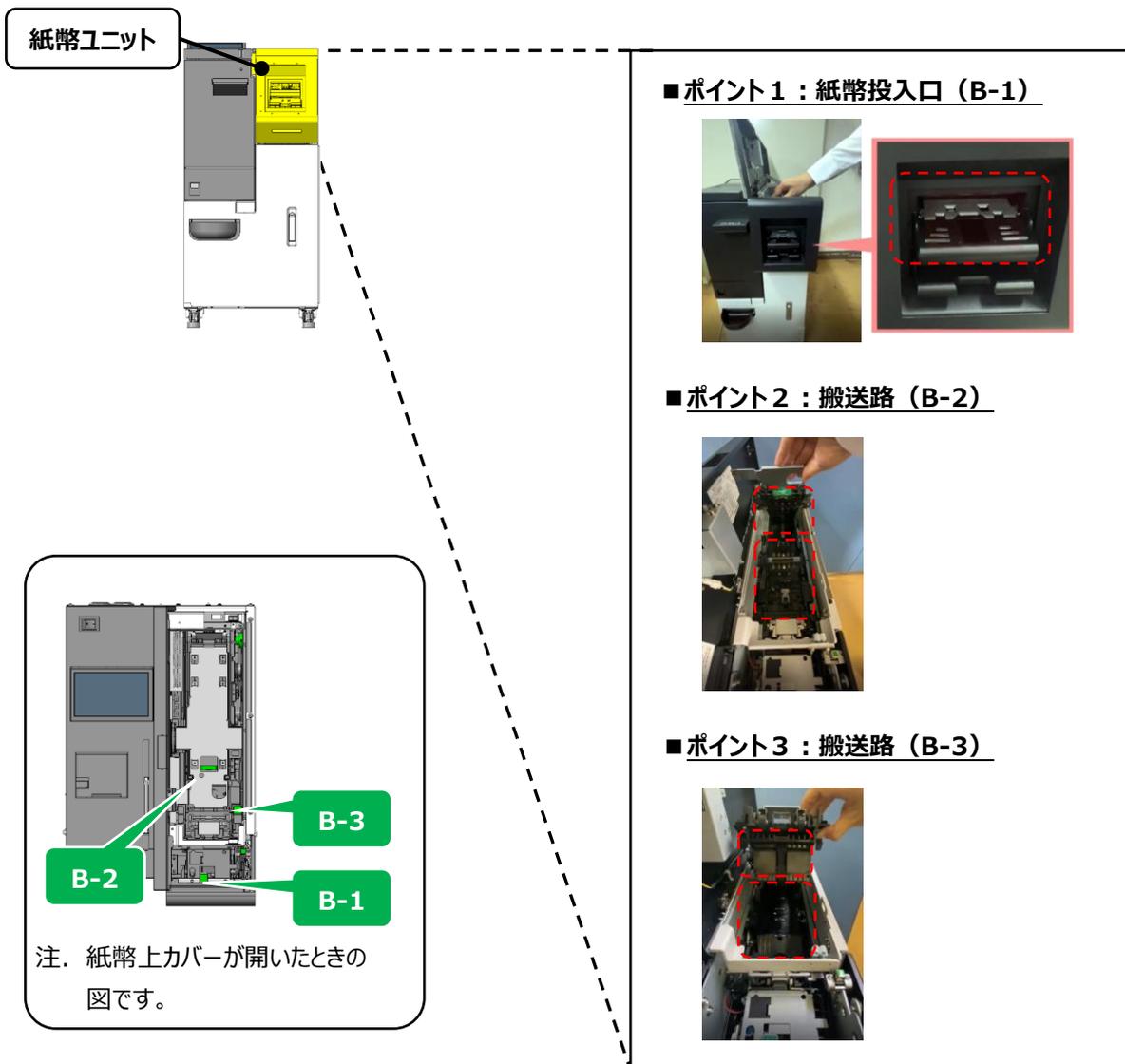
#### 📖 補足

- タッチパネル表示部に、右記のようなガイダンス画面が表示されます。
- ガイダンスは、手順ごとに再生され、「<前に戻る」および「次へ進む」ボタンでそれぞれの手順へ移動できます。
- 「閉じる」ボタンを押すと、ガイダンスの再生が終了します。



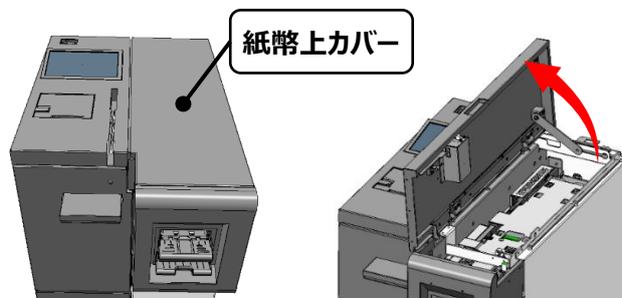
### 5.3. 紙幣ユニットの清掃

紙幣ユニットの清掃方法を説明します。紙幣ユニットの清掃ポイントは、以下の3点です。



紙幣ユニットの清掃手順を記載します。この内容は、タッチパネル表示部で再生される清掃ガイダンスと同じ内容です。

1. ロック解除の操作で、紙幣上カバーを開けます。



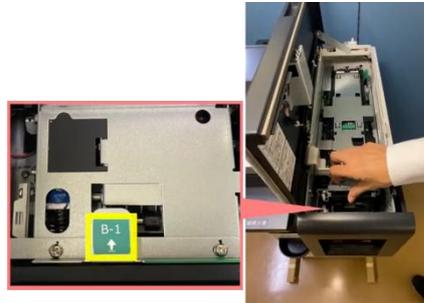
#### ☞ 参照

- 操作方法は、「3.8.1 紙幣ユニットのロック解除(P.58)」を参照してください。

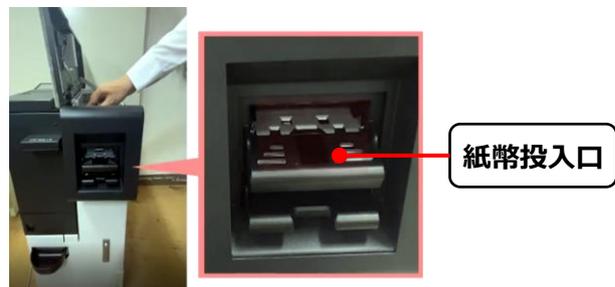
**補足**

- 清掃ガイドスは、紙幣上カバーを開けると再生できます。ガイドスの操作方法は、「5.2 清掃ガイドスの確認(P.73)」を参照してください。

2. 紙幣投入口の清掃を開始するため、「B-1」を開けます。



3. 用意した布で、紙幣投入口をふき取ります。

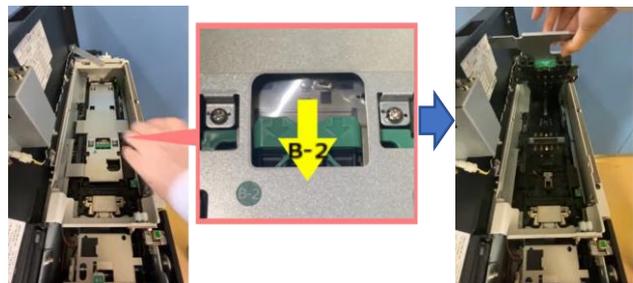
**補足**

- 清掃で使用する布は、「5.1 清掃用具の準備(P.73)」を参照し、事前に準備をしてください。

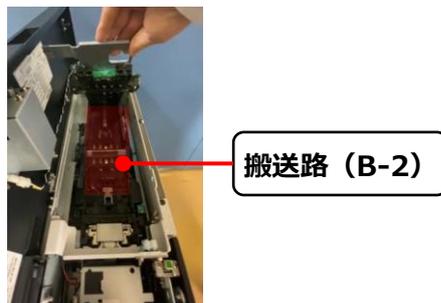
4. 「B-1」を閉じます。



5. 搬送路 (B-2) を清掃するため、「B-2」を手前に引きながら、カバーを開けます。



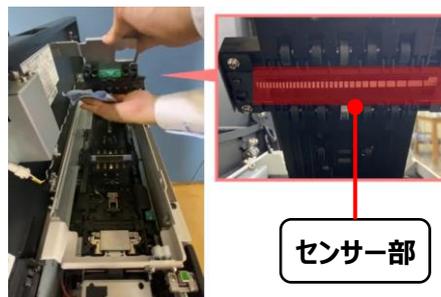
6. 搬送路 (B-2) 上にゴミなどが無いか確認し、あった場合は取り除きます。



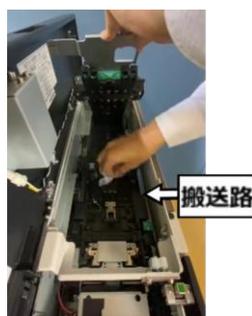
7. 搬送路カバー (B-2) の裏側を布でふき取ります。



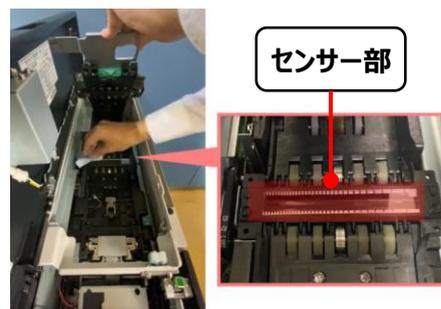
8. 搬送路カバー (B-2) 裏側にあるセンサー部を布でふき取ります。



9. 搬送路 (B-2) を布でふき取ります。

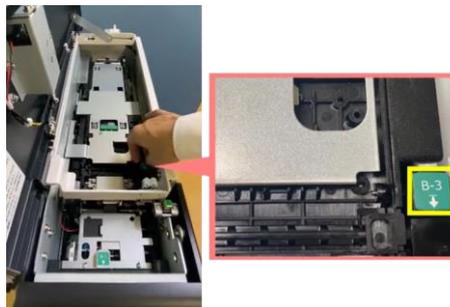
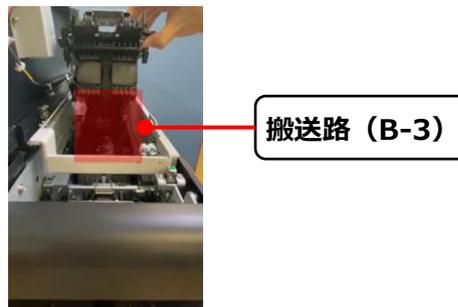
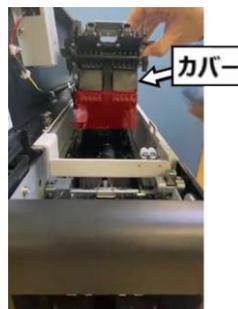


10. 搬送路 (B-2) にあるセンサー部を布でふき取ります。

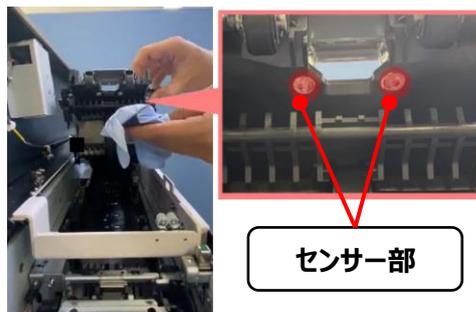


**11. 搬送路 (B-2) を閉めます。****補足**

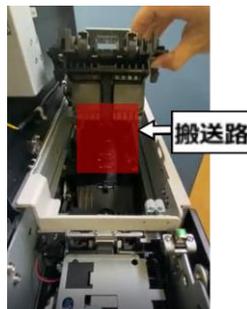
- 搬送路 (B-2) がロックされていることを確認してください (「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください)。

**12. 搬送路 (B-3) を清掃するため、「B-3」を開けます。****13. 搬送路 (B-3) 上にゴミなどが無いか確認し、あった場合は、取り除きます。****14. 搬送路 (B-3) 裏側を布でふき取ります。**

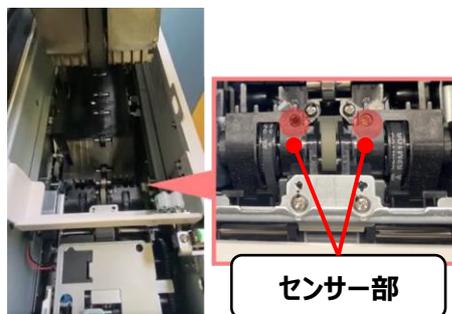
15. 搬送路 (B-3) 裏側にあるセンサー部を布でふき取ります。



16. 搬送路 (B-3) を布でふき取ります。



17. 搬送路 (B-3) にあるセンサー部を布でふき取ります。



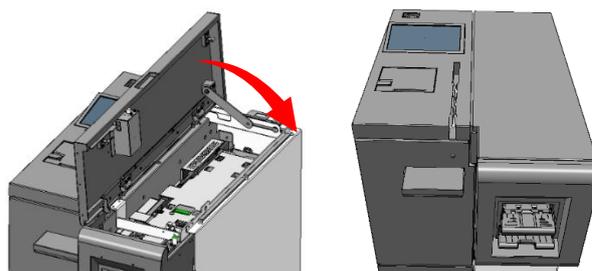
18. 搬送路 (B-3) を閉めます。



#### 補足

- 搬送路 (B-3) が、ロックされていることを確認してください (「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください)。

19. 紙幣上カバーを閉めます。これで、紙幣ユニットの清掃は終了です。

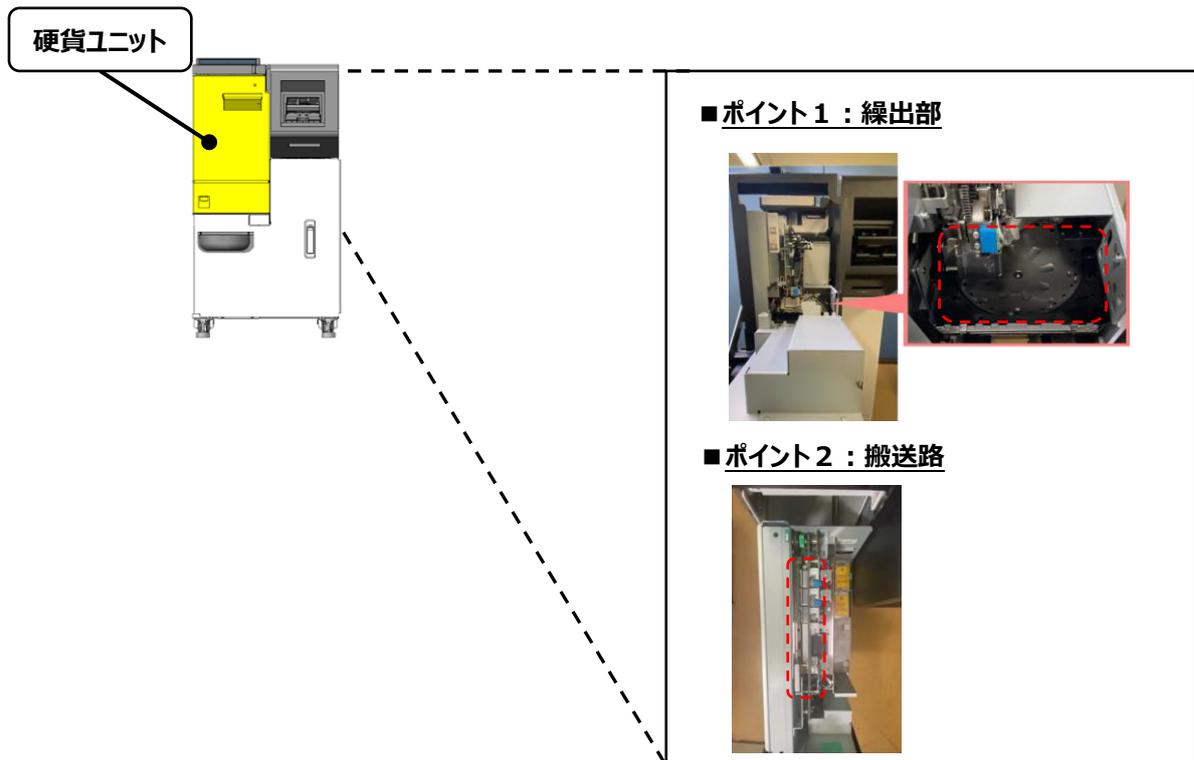


**☞参照**

- これ以降の操作は、「3.8.1 紙幣ユニットのロック解除(P.58)」を参照してください。
-

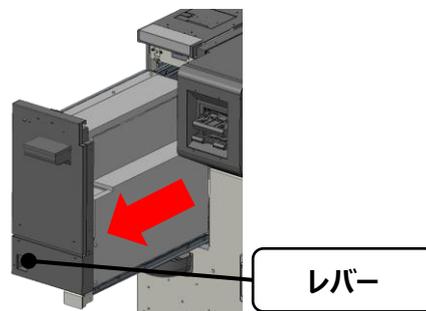
## 5.4. 硬貨ユニットの清掃

硬貨ユニットの清掃方法を説明します。硬貨ユニットの清掃ポイントは、以下の2点です。



硬貨ユニットの清掃手順を記載します。この内容は、タッチパネル表示部で再生される清掃ガイダンスと同じ内容です。

1. ロック解除の操作で、レバーを引いて硬貨ユニットを引き出します。



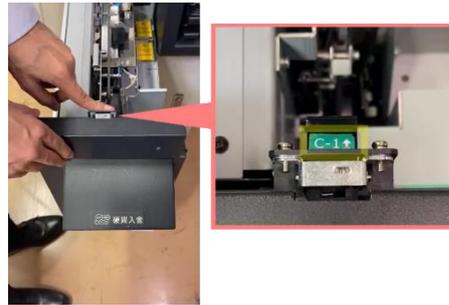
### ☞ 参照

- 操作方法は、「3.8.2 硬貨ユニットのロック解除(P.61)」を参照してください。

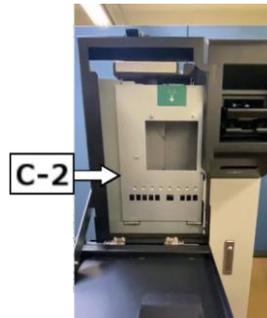
### 📖 補足

- 清掃ガイダンスは、硬貨ユニットを引き出すと再生できます。ガイダンスの操作方法は、「5.2 清掃ガイダンスの確認(P.73)」を参照してください。

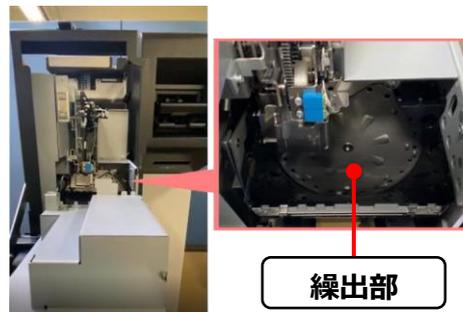
2. 繰出部を清掃するため、硬貨ユニット上部にある「C-1」を押し、硬貨部カバーを手前に倒します。



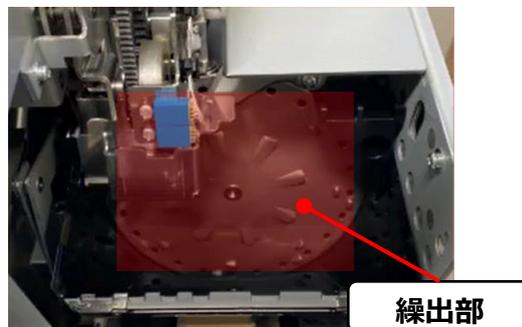
3. 硬貨部カバーと同様に、「C-2」を手前に倒します。



4. 繰出部にゴミなどが無いか確認し、あった場合は、取り除きます。



5. 用意した布で、繰出部をふき取ります。



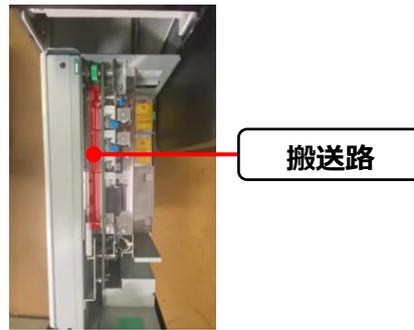
#### 補足

- 清掃で使用する布は、「5.1 清掃用具の準備(P.73)」を参照し、事前に準備をしてください。

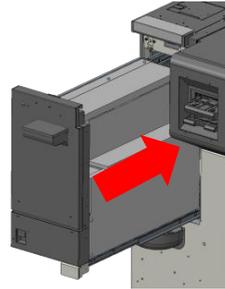
6. 「C-2」を元に戻し、同様に硬貨部カバーを元に戻します。



7. 硬貨ユニット上部にある搬送路を布でふき取ります。



8. 硬貨ユニットを押し戻して、収納します。  
これで、硬貨ユニットの清掃は終了です。



---

**参照**

- これ以降の操作は、「3.8.2 硬貨ユニットのロック解除(P.61)」を参照してください。
-

## 第6章 紙幣/硬貨ユニットのエラー解除方法

ここでは、引渡や計数の操作中に、紙幣/硬貨ユニットでエラーが発生したときのエラー解除方法を説明します。

### 6.1. エラーが発生したときは

装置を操作している際に紙幣/硬貨ユニットでエラーが発生すると、タッチパネル表示部に下記のようなメッセージが表示されます。また、各ユニットの電磁ロックが解除されますので、ユニット内部を点検し、エラーを解除してください。

【例】紙幣ユニットでエラーが発生した場合

エラーコード I101 (107E05)

紙幣つまり(B-1/B-2周辺)です。  
紙幣ユニット内のつまりを取り除いて確認ボタンを押して下さい。

取り除き方法 確認

エラーコードの最初の 2 桁がエラー箇所を表します。

10\*\*\*\* : 紙幣ユニット  
30\*\*\*\* : 硬貨ユニット  
40\*\*\*\* : 磁気カードリーダー  
50\*\*\*\* : 内蔵プリンター

【例】硬貨ユニットでエラーが発生した場合

エラーコード 3102 (30301C)

硬貨つまりです 硬貨ユニット内のつまりを取り除いて確認ボタンを押して下さい

取り除き方法 確認

#### 参照

- 紙幣ユニットのエラー解除手順は、「6.2 紙幣ユニットのエラー解除方法(P.84)」を参照してください。
- 硬貨ユニットのエラー解除手順は、「6.3 硬貨ユニットのエラー解除方法(P.94)」を参照してください。

#### 補足

- 「取り除き方法」ボタンを押すと、取り除き方法を説明するガイダンスが再生されます。このガイダンスに従って、各ユニットのエラーを解除してください。
- ガイダンスは、手順ごとに再生され、「<前へ戻る」および「次へ進む」ボタンでそれぞれの手順へ移動できます。
- 「閉じる」ボタンを押すと、ガイダンスの再生が終了します。



## 6.2. 紙幣ユニットのエラー解除方法

紙幣ユニットのエラーを解除するためには、以下の3つの手順をすべて実施してください。

### ■エラー解除までの手順

- 手順 1 : リサイクルボックスの取り外し
- 手順 2 : つまった紙幣の除去
- 手順 3 : ユニットの復旧 (リセット)



### ⚠ 注意

- 最初に、必ずリサイクルボックスを取り外してください。リサイクルボックスを取り外さないと、紙幣搬送路にあった紙幣がリサイクルボックスに入り、再び紙幣つまりが発生します。

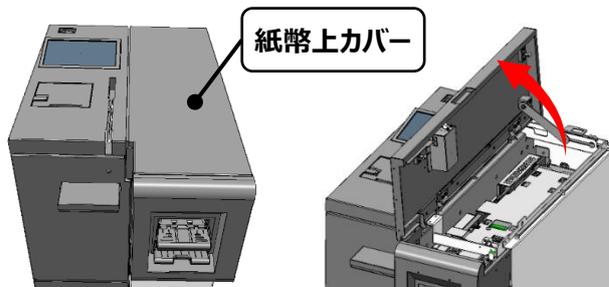
### 6.2.1. リサイクルボックスの取り外し

リサイクルボックスの取り外し方法を説明します。

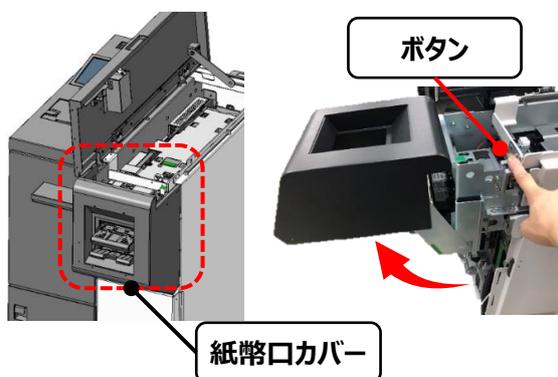
#### ☞ 参照

➤ リサイクルボックスの位置は、「1.2 ユニット・レイアウト(P.11)」を参照してください。

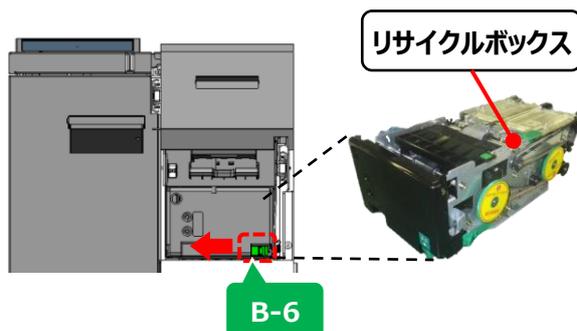
#### 1. 紙幣ユニットの紙幣上カバーを開けます。



#### 2. ボタンを押しながら、紙幣口カバーを開けます。



#### 3. 装置からリサイクルボックスを取り外します。



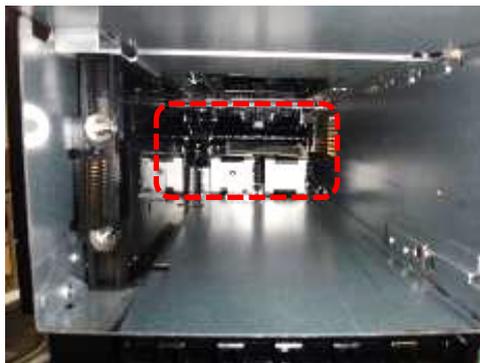
#### ☞ 補足

➤ リサイクルボックスを取り出す際は、「B-6」レバーを左側へスライドし、ロックを解除した状態で、手前に引き出してください。

#### ⚠ 注意

➤ リサイクルボックスは、重量があります。リサイクルボックスを引き出す際は、リサイクルボックスの下に手を添えて、落下させないように注意してください。

4. リサイクルボックスが収納されていた紙幣ユニット内部（奥側）を確認し、紙幣がつまっていたならば、取り除いてください。

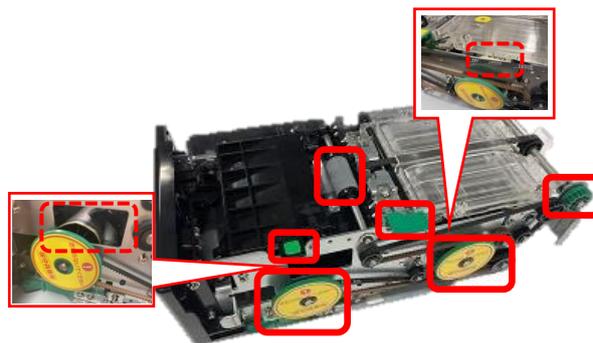


5. リサイクルボックスを確認し、はみ出している紙幣を取り除いてください。



**⚠ 注意**

- リサイクルボックスの内部に紙幣が入っていることがありますが、リサイクルボックス内部の紙幣は触れないでください。
- 右図の 6 か所（赤線内）には、絶対に触れないでください。



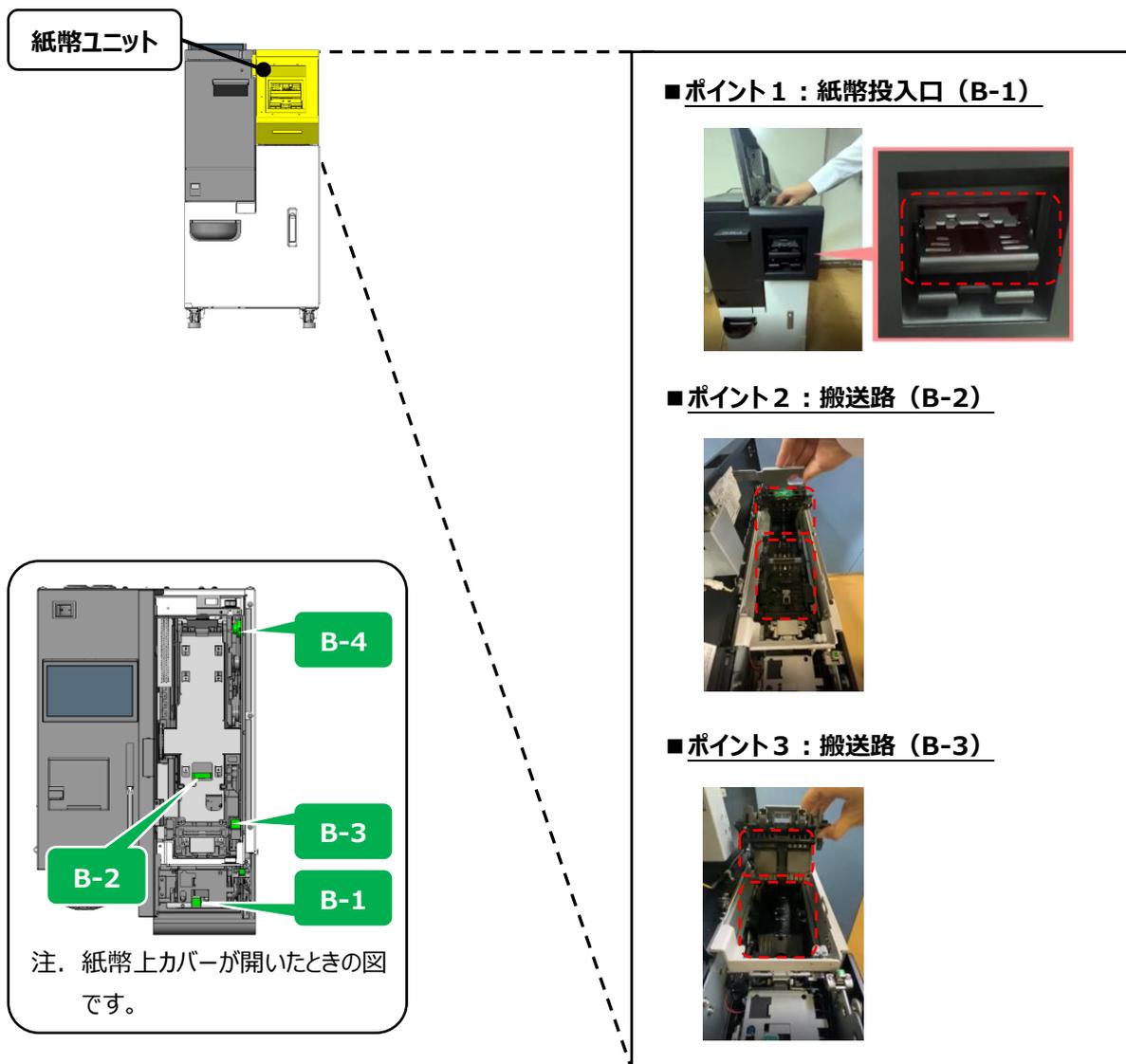
6. これでリサイクルボックスの取り出しは完了です。

**👉 参照**

- リサイクルボックスを取り外した状態で、「6.2.2 つまった紙幣の除去(P.87)」へ進んでください。

## 6.2.2. つまった紙幣の除去

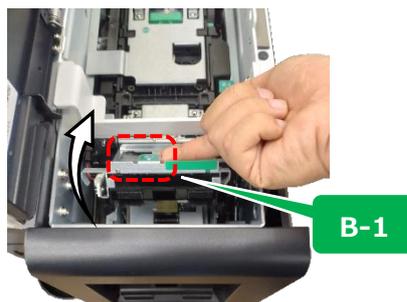
紙幣ユニット内につまっている紙幣の取り除き方法を説明します。紙幣ユニットの点検ポイントは、以下の 3 点です。



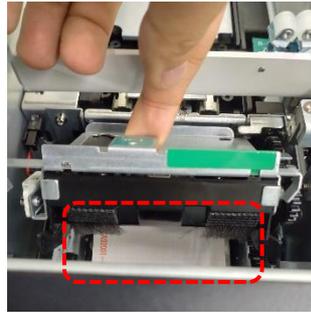
### ⚠ 注意

- 本手順を行う前に、必ずリサイクルボックスを取り外してください。リサイクルボックスを取り外さないと、搬送路にあった紙幣がリサイクルボックスに入り、再び紙幣つまりが発生します。
- リサイクルボックスの取り外し手順は、「6.2.1 リサイクルボックスの取り外し(P.85)」を参照してください。

1. 紙幣投入口を点検するため、「B-1」を持ち上げます。



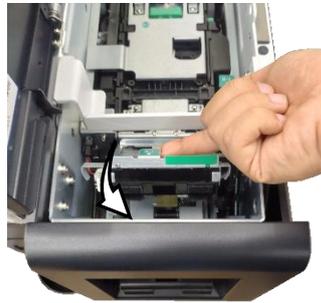
2. つまっている紙幣がある場合は、取り除きます。



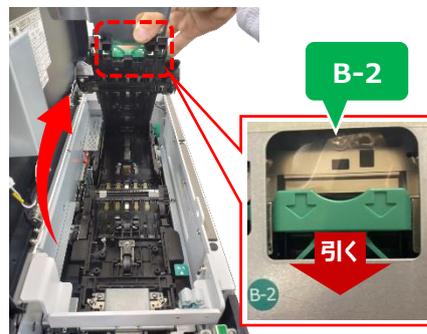
**補足**

- つまっている紙幣を抜いても取り除けない場合は、無理をせず次の手順に進んでください（紙幣が破けてしまうおそれがあります）。

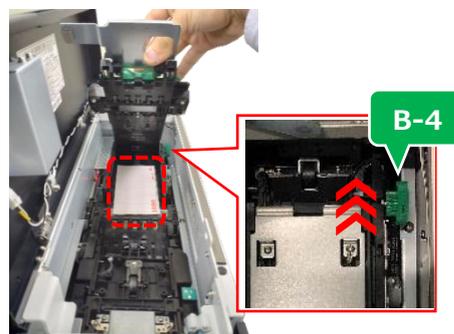
3. 「B-1」を閉めます。



4. 搬送路 (B-2) を点検するため、「B-2」を手前に引きながらカバーを開けます。



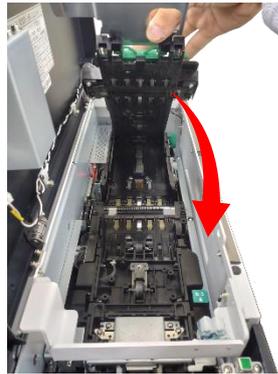
5. 搬送路 (B-2) に紙幣がつまっていたら、取り除きます。



**補足**

- 搬送路 (B-2) の奥に紙幣がつまっている場合は、「B-4」を奥側にまわしてください。つまっている紙幣が移動し、取り除くことができます。

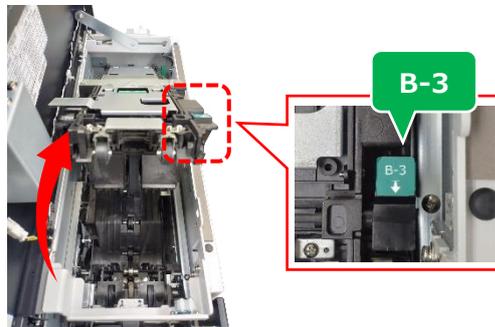
## 6. 開けた搬送路 (B-2) を閉めます。



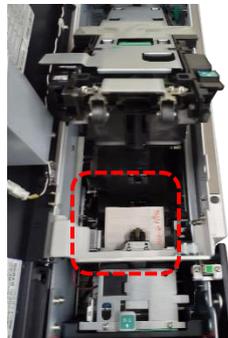
### 補足

- 搬送路 (B-2) がロックされていることを確認してください (「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください)。

## 7. 搬送路 (B-3) を点検するため、「B-3」を開けます。

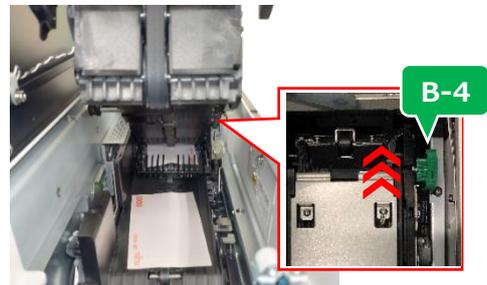


## 8. 搬送路 (B-3) に紙幣がつまっていたら、取り除きます。



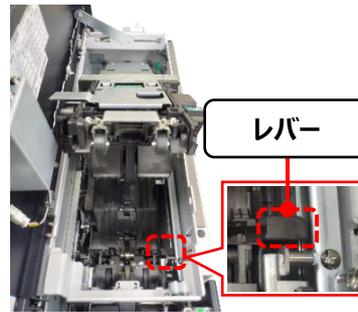
### 補足

- 搬送路 (B-3) の奥に紙幣が詰まっている場合は、「B-4」を奥側にまわしてください。
- つまっている紙幣が搬送路 (B-2) へ移動し、手順 4~6 で、紙幣を取り除くことができます。

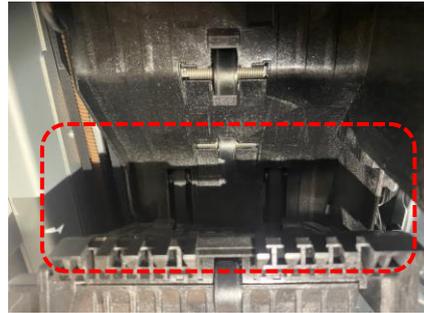


- 搬送路上に異物 (硬貨など) がある場合は、「7.6 くしゃくしゃの紙幣が、紙幣返却口から排出される (P.105)」を参照して、異物を取り除いてください。

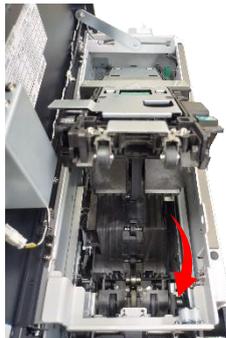
9. 搬送路 (B-3) 手前のレバーを持ち上げます。



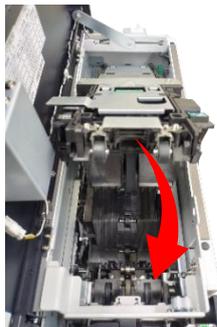
10. 搬送路 (B-3) にゴミなどが無いか確認し、あった場合は、取り除きます。



11. 搬送路 (B-3) 手前のレバーを元に戻します。



12. 搬送路 (B-3) カバーを閉めます。



 補足

- 搬送路 (B-3) が、ロックされていることを確認してください (「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください)。

13. これで、つまった紙幣の除去は、完了です。

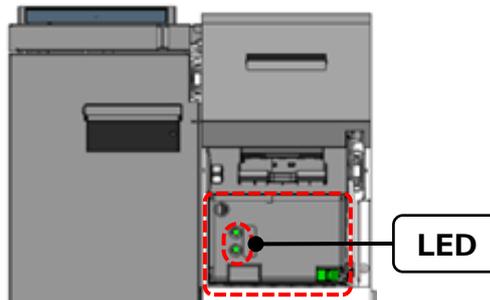
 参照

- 「6.2.3 ユニットの復旧 (リセット) (P.91)」へ進んでください。

### 6.2.3. ユニットの復旧 (リセット)

つまった紙幣を取り除いたあとに操作する、ユニットの復旧方法を説明します。

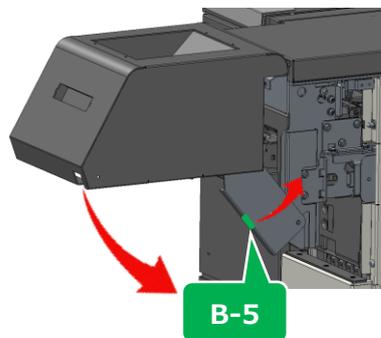
1. 取り出したリサイクルボックスを、元の位置に戻します。



#### 補足

- リサイクルボックスがロックされ、手前に引いても抜けないことを確認してください。
- リサイクルボックスの LED が緑色に点灯していることを確認してください。

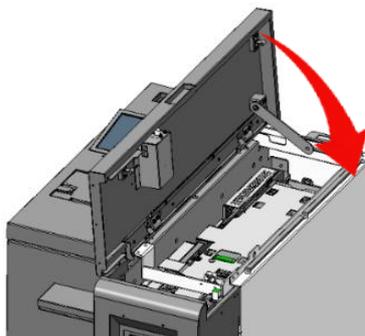
2. 紙幣口カバーを閉じます。



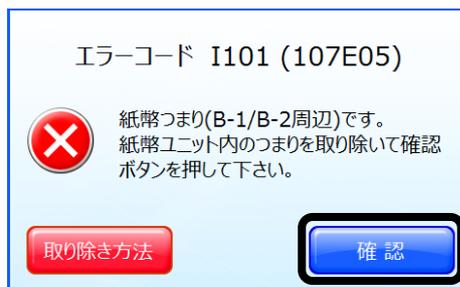
#### 補足

- 紙幣口カバーを持ちながら「B-5」を押し上げると、閉じることができます。

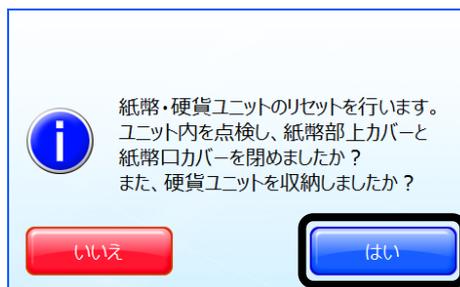
3. 紙幣上カバーを閉めます。



4. タッチパネル表示部に戻り、エラー画面の「確認」ボタンを押します。



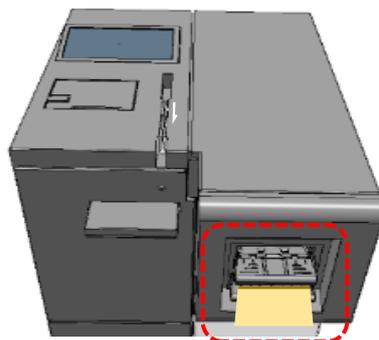
5. 再確認画面が表示されます。表示されている内容を確認し、「はい」ボタンを押します。



**補足**

- 以下 3 つの事項を確認し、すべて「はい」の場合だけ、「はい」ボタンを押してください。
  - ①エラーが発生したユニット内を点検しましたか？
  - ②紙幣上カバーおよび紙幣口カバーを閉めましたか？
  - ③硬貨ユニットを収納しましたか？
- 1 つでも「いいえ」の事項がある場合は、「いいえ」ボタンを押して確認してください（手順 4 のエラー画面に戻ります）。

6. ユニットの電磁ロックが施錠され、紙幣/硬貨ユニットのリセットが行われます。



**補足**

- 紙幣/硬貨ユニットのリセットで、紙幣が返却口に排出される場合があります。排出された場合は、該当の紙幣を取り除いてください。

7. ユニットの復旧（リセット）操作は、これで終了です（エラーが解除された場合、エラー発生前の画面に戻ります）。



#### 補足

- 上記は、引渡操作中にエラーが発生し、エラーが解除された場合の画面例です。
- 再びエラーが発生した場合は、「6.2.1 リサイクルボックスの取り外し(P.85)」から操作を行ってください。
- ユニットの復旧操作を 10 回行ってもエラーが解除されないと、右の画面が表示され、装置が休止状態となります。休止状態となった場合は、緊急連絡先へ連絡してください。



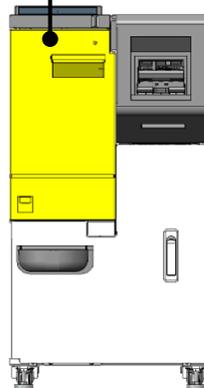
## 6.3. 硬貨ユニットのエラー解除方法

硬貨ユニットのエラーを解除するためには、以下の 2 つの手順をすべて実施してください。

### ■ エラー解除までの手順

- 手順 1 : つまった硬貨の除去
- 手順 2 : ユニットの復旧 (リセット)

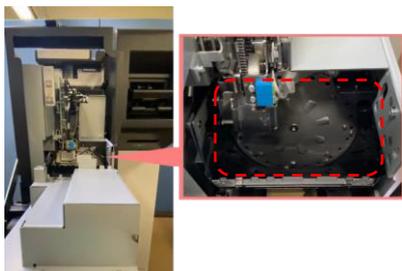
### 硬貨ユニット



### 6.3.1. つまった硬貨の除去

硬貨ユニット内につまっている硬貨の取り除き方法を説明します。硬貨ユニットの点検ポイントは、以下の 4 点です。

#### ■ ポイント 1 : 繰出部



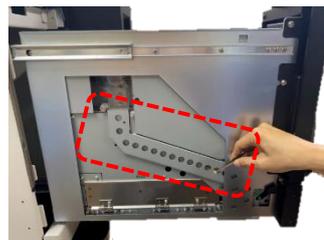
#### ■ ポイント 3 : 搬送路 (側面部)



#### ■ ポイント 2 : 搬送路 (上部)



#### ■ ポイント 4 : リジェクト搬送路



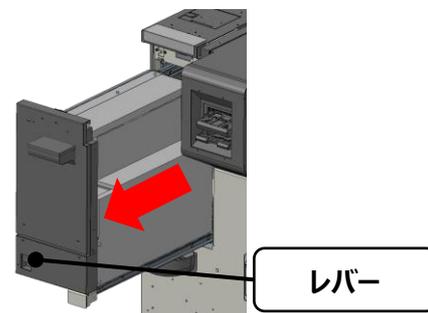
1. 硬貨投入口へ硬貨除去棒を出し入れし、硬貨つまりを取り除きます。



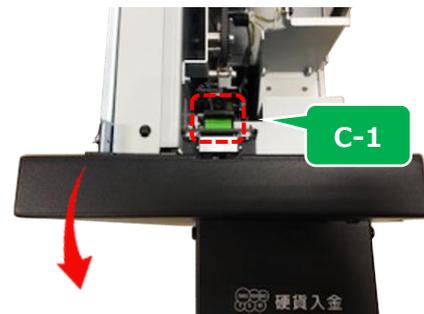
#### 補足

- 硬貨除去棒は、装置側面に取り付けられています。詳細は、「1.1 装置外観(P.10)」を参照してください。

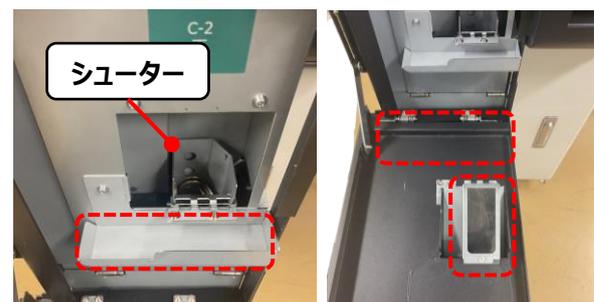
2. 硬貨投入口カバーを閉め、レバーを引いて硬貨ユニットを引き出します。



3. 繰出部の点検を行うため、硬貨ユニット上部にある「C-1」を押し、硬貨部カバーを手前に倒します。



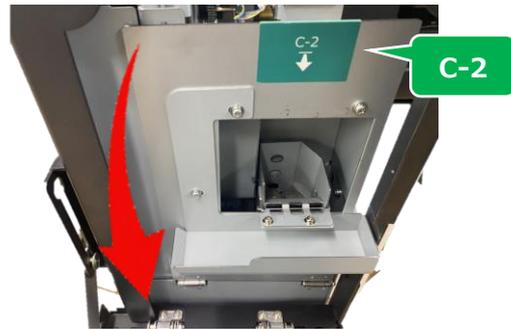
4. シューターと、その周辺の硬貨を取り除きます。



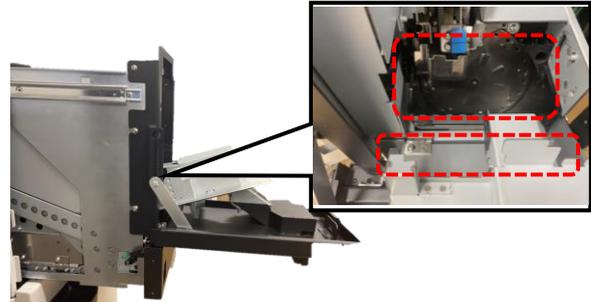
#### 補足

- シューター内の硬貨は、可能な範囲で取り除いてください。
- 赤枠部分にある硬貨は、すべて取り除いてください。

5. 硬貨部カバーと同様に、「C-2」を手前にゆっくりと倒します。

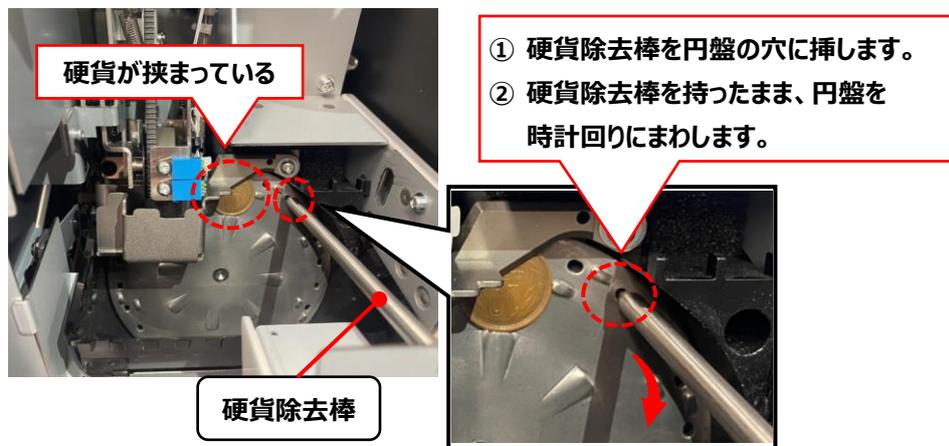


6. 繰出部に残っている硬貨をすべて取り除きます。

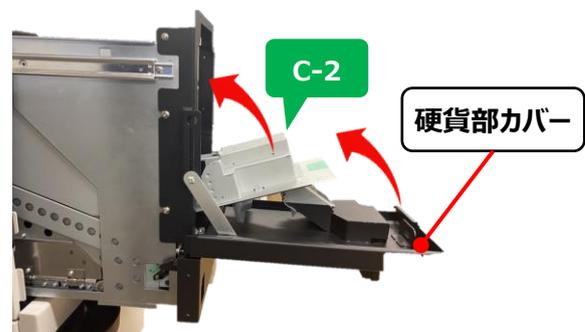


#### 補足

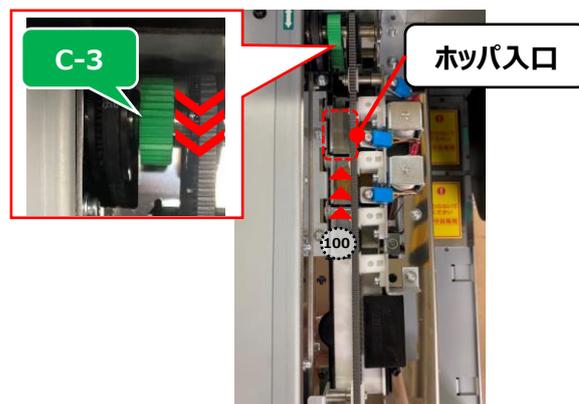
- 赤枠部分にある硬貨は、すべて取り除いてください。
- 繰出部の赤枠内のところに硬貨が挟まっていることがあります。硬貨が挟まっている場合は、硬貨除去棒を使用し、以下の手順で取り除いてください。



7. 「C-2」を元に戻し、同様に硬貨部カバーを元に戻します。

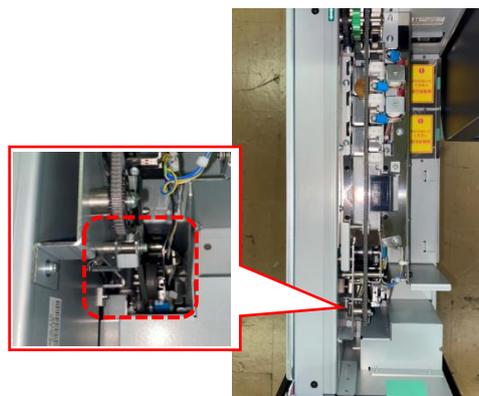


8. 硬貨ユニット上部にある搬送路を点検し、硬貨が残っている場合は、ホッパ入口へすべて落下させます。



**補足**

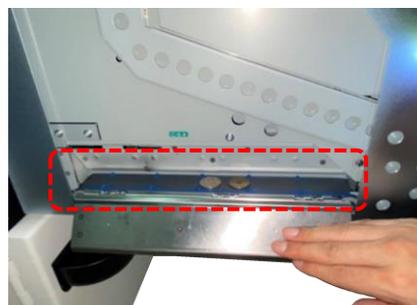
- 「C-3」を手前側にまわして、硬貨搬送路上にある硬貨をすべてホッパ入り口へ落下させてください。
- 硬貨ユニット内に硬貨が落下してしまった場合は、ピンセットなどを使用して、取り除いてください。



9. 搬送路（側面部）を点検するため、「C-6」を手前に倒します。



10. 搬送路（側面部）の赤枠内に硬貨がある場合は、取り除きます。



## 11. リジェクト搬送路を点検し、硬貨や異物を取り除きます。



### 補足

- リジェクト搬送路に硬貨や異物がつまっている場合は、ピンセットなどで取り除いてください。
- リジェクト搬送路から取り除いた硬貨が排出されます。硬貨ユニットの下部に受け皿を置いて、排出される硬貨を受け止め、硬貨の散乱を防止してください。

## 12. これで、つまった硬貨の除去は、完了です。

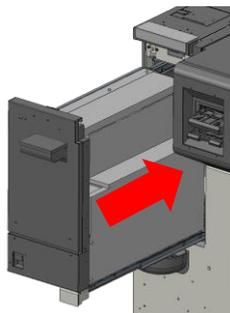
### 参照

- 「6.3.2 ユニットの復旧 (リセット) (P.99)」へ進んでください。

### 6.3.2. ユニットの復旧 (リセット)

つまった硬貨を取り除いたあとに操作する、ユニットの復旧方法を説明します。

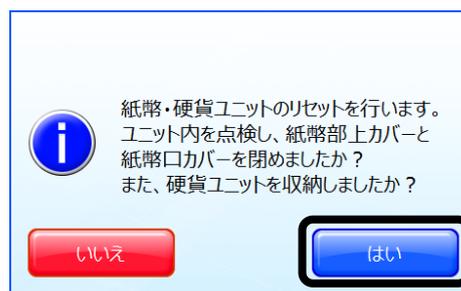
#### 1. 硬貨ユニットを押し戻して、収納します。



#### 2. タッチパネル表示部に戻り、エラー画面の「確認」ボタンを押します。



#### 3. 再確認画面が表示されます。表示されている内容を確認し、「はい」ボタンを押します。



#### 補足

- 以下 3 つの事項を確認し、すべて「はい」の場合だけ、「はい」ボタンを押してください。
  - ①エラーが発生したユニット内を点検しましたか？
  - ②紙幣上カバーおよび紙幣口カバーを閉めましたか？
  - ③硬貨ユニットを収納しましたか？
- 1 つでも「いいえ」の事項がある場合は、「いいえ」ボタンを押して確認してください（エラー画面に戻ります）。

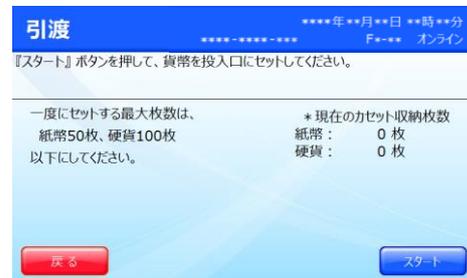
#### 4. ユニットの電磁ロックが施錠され、紙幣/硬貨ユニットのリセットが行われます。



### 補足

- 紙幣/硬貨ユニットのリセットで、硬貨が返却口に排出される場合があります。排出された場合は、該当の硬貨を取り除いてください。

## 5. ユニットの復旧（リセット）操作は、これで終了です（エラーが解除された場合、エラー発生前の画面に戻ります）。



### 補足

- 上記は、引渡操作中にエラーが発生し、エラーが解除された場合の画面例です。
- 再度エラーが発生した場合は、「6.3.1 つまった硬貨の除去(P.94)」から操作を行ってください。
- 紙幣/硬貨ユニットのリセットを 10 回行ってもエラーが解除されないと、右の画面が表示され、装置が休止状態となります。休止状態となった場合は、緊急連絡先へ連絡してください。



## 第7章 困ったときは

### 7.1. タッチパネル表示部に何も表示されていない

タッチパネル表示部に何も表示されていない場合は、以下を参考に本装置の動作状況を確認してください。

- **電源ケーブルが接続されていますか？**  
本装置の電源ケーブルが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。
- **スクリーンセーバーが起動されていませんか？**  
本装置のタッチパネルを 5 分以上操作しないと、スクリーンセーバーが起動し、黒い画面上に「画面の左上をタッチしてください」と表示されます。タッチパネル表示部をタッチするとスクリーンセーバーが解除され、業務メニューが表示されます。

### 7.2. 業務メニューに「通信エラー」と表示されている

業務メニューの右上に「通信エラー」と表示されている場合は、オンライン運用時にネットワーク障害が発生しています。以下を参考に本装置の動作状況を確認してください。

- **LAN ケーブルが接続されていますか？**  
本装置とモバイルルーターを接続する LAN ケーブル（白色）が正しく接続されていることを確認してください。
- **モバイルルーターの電源が投入されていますか？**  
モバイルルーターの「POWER ランプ」を見て、電源が投入されていることを確認してください。

---

#### 🔗 参照

- 「通信エラー」の表示箇所は、「1.3.1 表示項目の説明(P.12)」を参照してください。
-

### 7.3. 業務メニューに「赤色」のメッセージが表示されている

業務メニュー中央に「赤色」のメッセージが表示されることがあります。以下の方法で、対処してください。

#### ☞ 参照

➤ メッセージの表示箇所は、「1.3.1 表示項目の説明(P.12)」を参照してください。

メッセージ	原因と対処方法
<b>内蔵プリンタのカバーが開いています。 カバーを閉じてください。</b>	内蔵プリンタのカバーが開いています。 「2.4.1 内蔵プリンター(P.20)」を参照し、カバーを閉じてください。
<b>内蔵プリンタの用紙がありません。 用紙をセットしてください。</b>	内蔵プリンタの用紙（ロール紙）がありません。 「2.4.1 内蔵プリンター(P.20)」を参照し、ロール紙をセットしてください。
<b>ロック解除操作にて、紙幣・硬貨ユニットを 清掃してください。</b>	紙幣ユニットおよび硬貨ユニットの清掃が必要な状態です。 「第 5 章 装置メンテナンス(P.73)」を参照し、紙幣/硬貨ユニットを清掃してください。

## 7.4. 引渡の自動収納後に装置が休止した

引渡や金額指定の操作で、自動収納されたあとにエラーが発生した場合、下記のように引渡レシートにエラー番号が印字されます。このエラー番号が印字されたレシートの内容を確認し、装置が復旧したあとに残分を引渡操作してください。

The diagram shows a withdrawal receipt with several sections. Three callout boxes point to specific parts of the receipt:

- ① 引渡で発生したエラー番号 (Error number generated during withdrawal): Points to the 'エラーバ`ンゴ`ウ' (Error number) field, which contains a code like '\*\*-\*\*\*'.
- ② 引渡で計数した金額 (Amount counted during withdrawal): Points to the 'ヒキワタシケイスウガ`ク' (Withdrawal amount) field, which shows a sum like '¥\*\*, \*\*\*, \*\*\*'.
- ③ 回収カセットへ収納した貨幣の枚数と金額 (Number and amount of coins stored in the recycling cassette): Points to the 'ゼ`ンカイマデ`ノルイケイ' (Total amount) section, which lists the number of coins for each denomination (e.g., 1 Man, 5 Man, 2 Man, 1 Sen, 500, 100, 50, 10, 50, 1 Yen) and their corresponding amounts (all '\*\*\*\* マイ').

Other fields on the receipt include: [\*\*-\*\*\*], ヒキワタシ (ケイスウ) (Withdrawal amount (Case)), YYYY.MM.DD (Date), HH:MM (Time), \*\*\*\*-NO. (Serial number), IDNO. (ID number), ゴ`ウキNO. (Receipt number), シュウノウガ`ク (Total amount), and ルイケイ (Total amount).

### 補足

- 「③回収カセットへ収納した貨幣の枚数と金額」は、自動収納で回収カセットへ収納した金額です。
- 「②引渡で計数した金額」から「③回収カセットへ収納した貨幣の枚数と金額」を差し引いた額を再度、引渡してください。

## 7.5. 紙幣返却口のアラーム音が鳴り続けている

引渡や計数の操作中に、紙幣返却口に紙幣が残留している場合は、アラーム音が鳴ります。

紙幣を取り除いてもアラーム音が鳴り続けている場合は、紙幣返却口の奥にゴミ（紙片やレシートなど）が残っている場合があります。**紙幣返却口の奥を確認し、必要に応じて紙片やレシートなどのゴミを取り除いてください。**

---

### ☞ 参照

- 紙幣返却口の位置は、「2.2.1 紙幣投入口/返却口(P.16)」を参照してください。
-

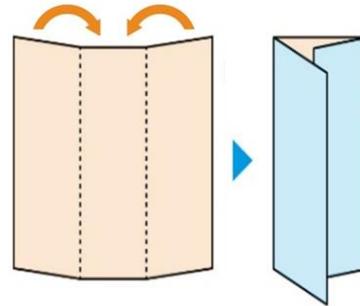
## 7.6. くしゃくしゃの紙幣が、紙幣返却口から排出される

装置に紙幣を投入すると、「くしゃくしゃの紙幣」が紙幣返却口から排出される場合は、紙幣ユニット内に硬貨などの異物が混入している可能性があります。次の手順を参考に異物除去シートを作成し、紙幣ユニットの異物を取り除いてください。

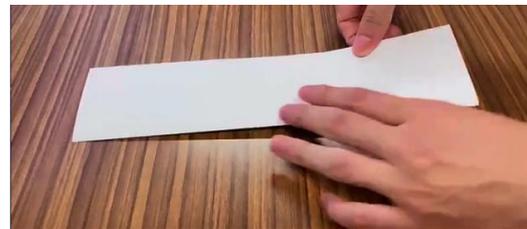
### 7.6.1. 異物除去シートの作成

A4 用紙を用意し、紙幣ユニットにつまった異物を取り除くためのシートを作成します。

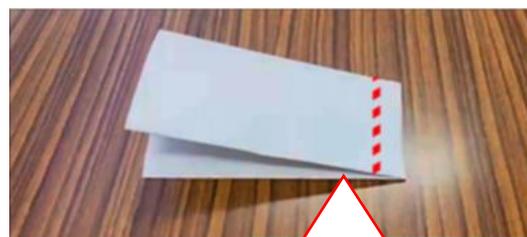
1. A4 用紙を縦に三つ折りにします。



2. 三つ折りにした用紙をさらに半分に折ります。



3. 折り目側を端から 15 mm 残し、谷折りにします。



端から 15 mm 残し、谷折り

4. 異物除去シートの完成です。

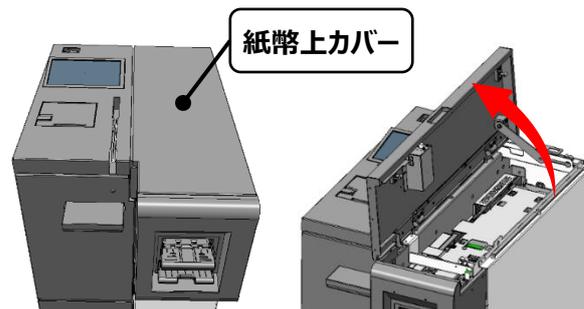


異物除去シート

## 7.6.2. 紙幣ユニットの異物の取り除き方法

異物除去シートを使用し、紙幣ユニットから異物を取り除く方法を説明します。

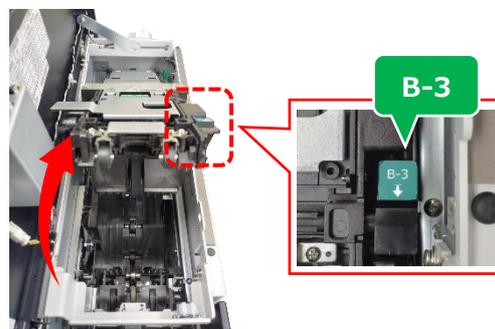
1. ロック解除の操作で、紙幣上カバーを開けます。



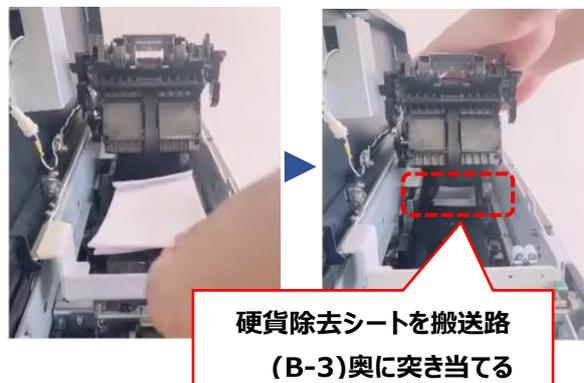
### ☞ 参照

- 操作方法は、「3.8.1 紙幣ユニットのロック解除(P.58)」を参照してください。

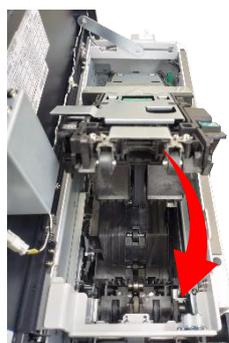
2. 「B-3」を開けます。



3. 硬貨除去シートの折り目側を奥にして、搬送路 (B-3) の奥へ突き当てます。



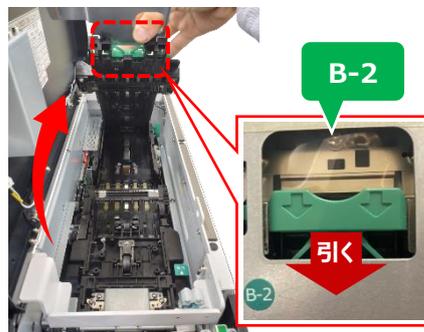
4. 搬送路 (B-3) カバーを閉めます。



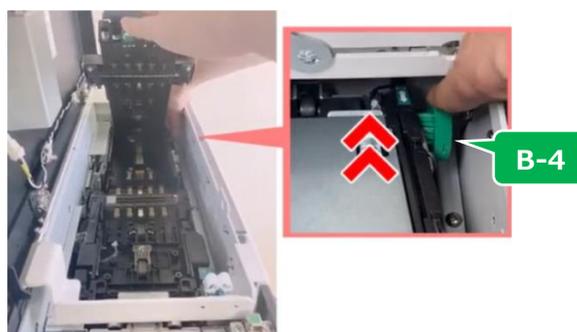
**補足**

- 搬送路 (B-3) がロックされていることを確認してください (「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください)。

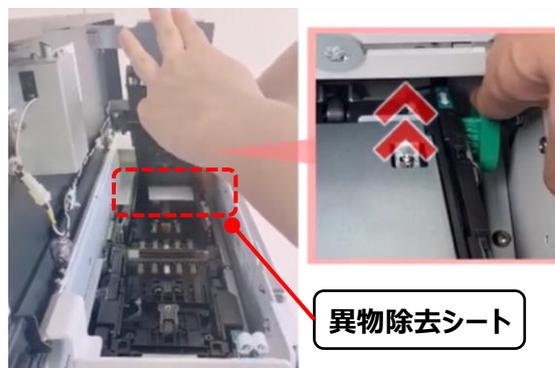
5. 「B-2」を手前に持ち上げます。



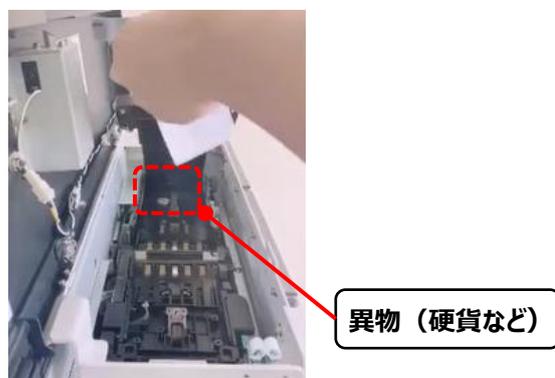
6. 「B-4」を奥に回します。

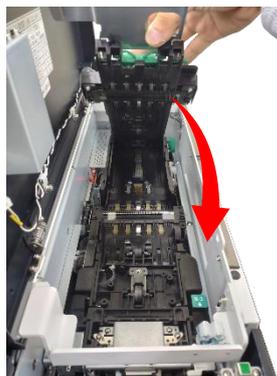


7. 異物除去シートと一緒に異物 (硬貨など) が搬送路 (B-2) 上へ搬送されます。

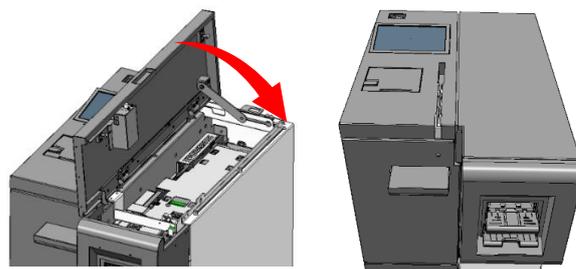


8. 搬送された異物と異物除去シートを取り除きます。



**9. 開けた搬送路 (B-2) を閉めます。****補足**

- 搬送路 (B-2) がロックされていることを確認してください (「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください)。

**10. 紙幣ユニットに異物が残っている場合があるため、もう一度、手順 2~9 を行います。****11. 紙幣上カバーを閉めます。これで、異物の取り除き操作は終了です。****参照**

- これ以降の操作は、「3.8.1 紙幣ユニットのロック解除(P.58)」を参照してください。

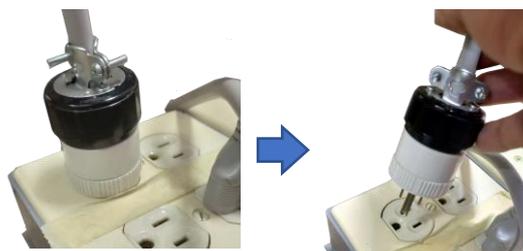
## 7.7. 装置の電源を停止したい

設置した建物の電気工事や法定点検などで、やむなく電源を落としたい場合は、以下の手順で装置の電源を落としてください。

1. **タッチパネル表示部に、業務メニューが表示されていることを確認します。**



2. **電源コンセントから本装置の電源ケーブルを抜きます。**



### ⚠ 注意

- 必ず、タッチパネル表示部に業務メニューが表示されているときに、電源ケーブルを抜いてください。取引操作中に装置の電源ケーブルを抜くと、故障の原因となります。
- 引渡、金額指定、および計数の取引中に電源を抜いてしまうと、電源を再投入しても休止状態となります。

3. **装置内の UPS が作動します。システムが停止するまで、そのまま待ちます。**

電源が供給されていません。  
現在行われている取引は中止されます。  
取引を確定している場合は、正常に完了となります。  
レシート印字が必要な場合は、取引の再印字、または取引履歴から印字してください。  
まもなくシャットダウンします。

### 📖 補足

- UPS が動作してからシステムが停止するまで最大 10 分かかります。
- 再び電源ケーブルを電源コンセントに接続すると、装置の電源が投入されます。

## 第8章 付録

### 8.1. 装置仕様

項目	仕様	
表示部	表示形式	TFT カラーLCD (7 インチ)
	解像度	800 x 480 ドット
	操作方式	抵抗膜式タッチパネル
磁気カードリーダー	許容 MS データ	JIS2 規格の磁気カード (読取機能だけ可能)
	読み取り方式	手動操作 (スワイプ式)
紙幣ユニット	取扱金種	4 金種 : 一万円券、五千円券、二千円券、千円券
	新札 (F 券) 対応	対応済
	計数速度	約 3 枚/秒
	投入口最大枚数	50 枚
	一時保留部最大容量	100 枚
	カセット最大容量	1,500 枚 (金種混合/流通券相当で換算)
	リジェクト機能	鑑別できなかった紙幣は、紙幣返却口へ返却
	取り忘れ防止機能	紙幣返却口の緑ランプ点灯および取り忘れアラーム
硬貨ユニット	取扱金種	6 金種 : 500 円、100 円、50 円、10 円、5 円、1 円硬貨 注. ただし、変形硬貨および記念硬貨などを除く。
	新 500 円硬貨対応	対応済
	計数速度	約 6 枚/秒
	投入口最大枚数	100 枚
	一時保留部最大容量	300 枚
	カセット最大容量	3,500 枚 (ただし、500 円は、1.5 枚換算)
	リジェクト機能	鑑別できなかった硬貨は、返却口から返却
	取り忘れ防止機能	なし
プリンター	内蔵プリンター	ダイレクトサーマル方式 (印字幅 : 2 インチ)
	外部プリンター	日本ブリックス社製 NEX-C200R-A1、NP-220i が接続可能 セイコーエプソン社製 TM-U295 が接続可能
外部通信機能	LAN	10/100/1000BASE-T x 1 ポート (モバイルルーター接続用)
電源部	電圧	AC100V ± 10V
	周波数	50Hz/60Hz
	電源ケーブル	AC100V 用 (3P ツイストロックプラグ 4m)
	消費電力	稼働時 : 0.4KVA 以下 (約 360W 以下) 待機時 : 0.2KVA 以下 (約 180W 以下)
	UPS 機能	あり
設置環境	温度	稼働時 : 5℃~35℃ 保管時 : -5℃~50℃
	湿度	稼働時 : 20%~80% 注. 結露しないこと。 保管時 : 8%~80%
装置外観	外形寸法	幅 : 400 mm 奥行き : 520 mm (紙幣口部 : 640 mm) 高さ : 900 mm (上部水平面からキャスター下部まで)
	重量	約 170Kg
	防犯筐体	自販機工業会 レベル 3 相当

## 8.2. 付属品

本装置をお使いになる前に、付属品を確認してください。また、付属品は、廃棄せずに大切に保管してください。

品名	個数	備考
コンパクトタイプ入金機 (SD-F) オペレータガイド (操作編)	1 部	ラミネート加工した冊子。
コンパクトタイプ入金機 (SD-F) オペレータガイド (紙幣エラー解除編)	1 部	ラミネート加工した冊子。
コンパクトタイプ入金機 (SD-F) オペレータガイド (硬貨エラー解除編)	1 部	ラミネート加工した冊子。
異物除去トレイ	1 個	
硬貨カセットの鍵	2 個	運用形態に応じて、 無い場合があります。

---

## コンパクトタイプ入金機（SD-F）取扱説明書

KD96019-0042

発行日 2024年3月28日

発行責任 富士通フロンテック株式会社

Copyright 2021 - 2024 Fujitsu Frontech Limited

---

- ※ 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- ※ 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- ※ 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、弊社はその責を負いません。